



Web Fairy Paradise

第152号

今月のフェアリー詰将棋

- ・ 第128回 WFP 作品展(再掲)
- ・ 第129回 WFP 作品展
- ・ 推理将棋第136回出題
- ・ 第10回神無太郎の氾濫 問題編

結果発表

- ・ 第127回 WFP 作品展
- ・ 第12回アンチキルケばか詰作品展
- ・ Fairy of the Forest #65
- ・ 臨時③神無太郎の氾濫 解答編

読み物

- ・ キルケ例題級の作品の出題結果(上谷直希)
- ・ 講座案内(はじめての透明駒集中講座)
- ・ 広島将棋センターの思い出(たくぼん)

改訂:2021/2/23



2021/2

はじめに



Discord

新型コロナウイルスがやや陰りが見え初めてワクチン接種も始まり、少しは状況が良い方へ向かうのかなと期待しています。とはいえまだまだ余談を許されないことには変わりなく3密回避、ソーシャルディスタンス、不要な会食の自粛はしていかないと第四派ってことになっては元も子もありません。

先月開催予定だった詰四会も新型コロナウイルス感染防止により中止としました。しかしながら平井さんの提案により Discord によるオンラインにて開催しました。何分私はこういうことに弱いので平井さんや小林さんにお任せきりでした。私はマイクだけ購入して準備しておりましたが設定に手間取り開始1時間位私の声が聞こえないという状況になってしまいました。その後は何とか声で参加できて楽しい時間を過ごすことができました。お世話になりました。

今月の27日は上谷さんによる Web 講座「透明駒」があります。私も出来る限り参加予定ですので皆さんもいかがでしょうか? 本号に紹介ページがありますのでそちらをご覧ください。

今号はアンチキルケばか詰作品展の結果発表です。好作いっぱいの結果稿是非ご覧ください。

たくぼん

作品

フェアリー作品、PG、推理将棋はそれぞれの投稿先へ投稿下さい。

読み物

フェアリー詰将棋に関するものに限らず日常のことでも研究物でも4コマ漫画からパロディ、イラスト、マイベスト10、自己紹介、何でもOKです。

感想

第152号の感想、今後の要望、ご意見等なんでも結構です。是非メールにて私まで

皆様の反応が私の意欲に成りますので是非ご協力をお願いします。

読み物、感想の投稿はこちらまで

たくぼん : takuji@dokidoki.ne.jp

協力いただいている方々の HP アドレス

*ご協力感謝します

妖精都市

<http://cavesfairy.g1.xrea.com/pub/>

詰将棋メモ

<http://toybox.tea-nifty.com/>

詰将棋おもちゃ箱

<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/>

Onsite Fairy Mate

<http://k7ro.sakura.ne.jp/>

K.Komine's Home Page

<http://19900504.web.fc2.com/index.html>

フェアリー時々詰将棋

<http://fairypara.blog.fc2.com/>

占魚亭残日録

<https://sengyotei.hatenablog.com>

第128回WFP作品展(再掲)及び
第129回WFP作品展 担当：神無七郎

同一局面と同一着手

一説に「将棋には10の220乗の可能性がある」と言われることがあります。一方、将棋で実現可能な局面の数は10の68乗から69乗の間と見積もられています。

この違いは将棋を手順で見るか、局面数で見るとかという違いに由来します。例えば初手から「26歩 34歩 76歩」と「76歩 34歩 26歩」では、手順は異なりますが局面は同じです。手順の大雑把な見積りは 10^{220} であり、局面数の見積りは $10^{68} \sim 10^{69}$ というわけです。

普通の将棋や詰将棋では、「同じ局面から異なる手を指すと異なる局面になる」のは当たり前ですが、フェアリーではそうとは限りません。以下の例をご覧ください。

〔例図1〕異なる手で同一局面

PWC協力詰 2手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | | 王 | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 n角
受方持駒 なし

※角はすべて:中立角

元々この例図は同種の中立駒の位置交換で「パス」と同等の手ができることを示すために作ったものです。解答は「12n角/21n角 99n角まで2手」と「21n角/12n角 99n角まで2手」の2つ。「12n角/21n角」と「21n角/12n角」は異なる手ですが、着手後の局面は同じです。

実は、これをfmzaに解かせると前者の解しか出力されません。着手後の局面が同じため、一方の解がカットされてしまうのです(次に公開される版にはその修正が含まれる予定です)。

このようにフェアリーでは「同じ局面から異なる手を指すと異なる局面になる」という当た

り前に思える法則さえ成り立たないことがあります。逆に、そういう例外的現象を見つけられれば、作品のネタになるかもしれません。

似た現象は他のルールでも起こります。

〔例図2〕獅子の「じっと」

協力詰 2手(受先)

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | | |
| | | | | | | | | 蛾 | 王 | 一 |
| | | | | | | | | 糸 | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 桂 | | 五 |
| | | | | | | | | 香 | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

※獅:中将棋の獅子

21獅 23桂生 まで 2手

獅子は「2手分動ける玉」の性能を持っているので、隣のマスに動いてから元に戻ることでパスができます。これは「じっと」と呼ばれる手で、本来ならば獅子の周囲8マスが空いているときにしかできません(盤の端でもダメです)が、上図では獅子に関する特殊ルールは適用しません。あくまで「中将棋の獅子のような性能を持つフェアリー駒」と思ってください。

さて、結果的に動かなかった獅子ですが、途中経過を考えると以下の3つのケースが考えられます。

1. 12 に移動して 21 に戻った
2. 31 に移動して 21 に戻った
3. 32 に移動して 21 に戻った

これらは同一の着手でしょうか？ それとも別の着手でしょうか？

現在、これらは「同一着手」と扱っています。通常の駒と同様、「駒種」「元位置」「移動先」「成・不成」の4つの要素で着手の同一性を判断するわけです。 ※注

しかし、駒取りが絡むと話は別です。獅子は途中で駒を取って更に移動することができます。その場合は、「駒種」「元位置」「移動先」「成・不成」の他に「経由位置」の要素が加わります。

そして「経路位置」に取れる駒がある場合、これを着手の同一性の判定に用います。獅子に関しては「同一着手」の再定義が必要になります。

別の例も挙げましょう。

キルケ系のルールでは「復活位置」が着手の定義に加わります。「復活位置」候補が複数ある場合は特にこれが重要になります。これらの例を見れば **fmza** で未サポートのルールの組み合わせがある理由の一端が分かるでしょう。「着手」の意味すらフェアリーでは一定ではありません。「着手」の定義を拡張するにしても、どこかで区切りは付けねばならないのです。

※注：

中将棋以外の古将棋では獅子が成ることもあるので、その場合は「成・不成」も必須。また、局面の情報が与えられていると、着手の合法性を前提に情報の一部を省略できる場合がある。省略可能なら「移動先」「駒種」だけを使うのが将棋の棋譜表記。

ルールによっては「同一局面」の概念も再定義が必要になる場合があります。通常、「同一局面」は配置（盤上の配置だけでなく双方の持駒も含む）と手番の一致で判定します。ところが「衝立詰」（参考：<http://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/kato/ftsui.htm>）では、これだけでは足りません。配置と手番が同じでも、「チョンボ」の数が異なると詰・不詰が変わることがあるからです。従って衝立詰での同一局面の判定には、「配置」「手番」「チョンボの数」の3要素が必要です。最近の本作品展でも透明駒を使った作品で、見えている配置の他に透明駒の存在を考慮に含める作品（**WFP124-7**）がありましたね。

フェアリーではこれからも様々な新ルールが提案されると思います。また今までにないルールの組み合わせが登場することもあるでしょう。少しでも怪しいと感じたら、ルールの構成要素となる基本的概念に再定義の必要があるかどうか、一通りチェックしてください。

さて、今回の **WFP** 作品展は第 **128** 回出題の再掲載分と、第 **129** 回の新規出題分です。第 **129** 回の出題数は **11** 題（ツインを含むため実質 **15** 題）。フェアリー駒が苦手な方もいらっしゃると思いますが、難度は高くないと思います。とりあえず手を付けてみてください。

〔第 128 回作品展各題への補足説明〕（再掲）

第 **128** 回の出題は全 **11** 題（ツインを含むため実質 **12** 題）。今回登場する作者は上田吉一氏、神無太郎氏、真 T 氏、占魚亭氏、たくぼん氏、堀内真氏（合作）、高坂研氏、変寝夢氏、くろねこ氏の **9** 名です。前回ほど難度は高くないと思いますが、フェアリー駒絡みの作品が多いので油断は禁物です。2 月は解答期間も短いので、早めに解答に着手することをお勧めします。

128-1 及び **128-2** は上田吉一氏の作品。

128-1 は前回の **127-2** と同様、PWC と中立駒による趣向作。自玉を詰める駒が何かは見当が付くと思いますが、どうやってそれを呼び出すのでしょうか？

128-2 は **Lion**（鬘）というフェアリー駒を使った作品。**Lion** の変種である **Bishop-Lion** は前回の **127-11**（変寝夢氏作）で登場していますが、純粋な **Lion** の作例を見たい方は **WFP91-5** をご覧になると良いでしょう。

128-3 は神無太郎氏の点鏡作品。前回の氏の発表作から推測できると思いますが、盤上の駒が増えていきます。難解だとは思いますが、頑張ってください。

128-4 は真 T 氏の **All-in-Shogi** 作品。前回の作品と同時に投稿されたもので、ルールだけでなく詰上りにも共通点があります。受先形式のため初手に迷うと思いますが、思い切ってヤマを張るのが良いと思います。

128-5 は占魚亭氏の中立駒作品。**Imitator** が使われていないことにご注目を。2016 年頃の作品だそうです。ツイン（組局）なので、片方を解けばもう一方も解きやすいと思います。

128-6 はたくぼん氏の強欲詰。今回唯一の協力系でないルールの作品です。「最善」指定は付いていません。ですから早詰はもちろん、長手数で詰む余詰もないはずです。

128-7～**128-9** は高坂研氏の作品。**128-7** は堀内真氏の余詰指摘を元にした作ということで、合作名義になっています。透明駒は使われていません。**128-8** と **128-9** は透明駒と性能変化系ルールの組み合わせ。**128-8** は達成目標が「詰」ではなく「ステイルメイト」であることにご注

意を。

128-10 は変寝夢氏のフェアリー駒作品。使われているのは **Eagle** (鷲) です。**WFP99-2** でもこの駒が登場しているので、初めての方はこの作品で駒の利きに慣れるのが良いでしょう。

128-11 はくろねこ氏の協力自玉詰。このルールで **22** 手という難しそうに思えますが、初手は一手しかありませんし、以後も比較的紛れが少ない手順が続きます。まずは、敬遠せず手を付けてみてください。

〔第 129 回作品展各題への補足説明〕

第 129 回の出題は全 11 題 (ツインを含むため実質 15 題)。今回登場する作者は占魚亭氏、高坂研氏、神無太郎氏、上田吉一氏、真 T 氏、変寝夢氏、藤原俊雅氏の 7 名です。藤原氏は本作品展では初登場ですが、ネット上や他誌で既に活躍をされているので、満を持しての登場と言っても良いでしょう。なお、今回は期せずして短編特集になりました。腕に覚えのある方は全題正解を狙ってください。

129-1 は占魚亭氏の **Knight 王&Imitator** 作品。**Knight** や **Imitator** が盤の端かその近くにいるので、「地の利」を活かす手順を考えてください。ツインなので、片方が解けると他方も解きやすいはずですが。

129-2 及び **129-3** は高坂研氏の透明駒作品。対面と安南という人気の高い性能変化ルールとの組み合わせです。性能変化がないと指せない着手を積極的に狙ってください。

129-4 は神無太郎氏の中立駒 & **Imitator** 作品。例によって玉以外のすべての駒が中立駒化したという設定です。今までの氏の作品と同様、盤上の駒を増やす最終形を考えてください。

129-5 及び **129-6** は上田吉一氏によるホッパー系のフェアリー駒を使った作品。登場するのは **Non-Stop Equihopper** と **Lion** です。**Non-Stop Equihopper** は本誌初登場。ある駒を中心に現位置から点対称の位置に跳ぶ駒です。

「**Non-Stop**」が付かない **Equihopper** は合駒が可能なのもありますが、「**Non-Stop**」の付いた **Equihopper** の場合は合駒で止めることはできません。**Lion** は本作品展でも結構登場しているので、もうすっかりお馴染みですね。初見の方は **WFP91-5** (変寝夢氏作) 等を参考に、駒の特徴を把握してください。

129-7 及び **129-8** は真 T 氏の最悪詰。でも、ただの最悪詰ではありません。透明駒を使用した最悪詰です。今回の 2 局は小手調べといった

ところなので、今のうちにこの組み合わせに慣れておきましょう。

129-9 及び **129-10** は変寝夢氏の作品。

129-9 は詰めるべき玉が最後になって現れる「**リパブリカン**」の作品。茫洋とした初形ですが使用駒数が少ないので、詰上りの想定が鍵を握ります。直近では **WFP123-11** でリパブリカン作品が登場しているので参考にしてください。

129-10 は駒を取る時と、取らない時の動きが異なる **Marine Piece** の一種である **Siren** (汝) を使った作品。手数は 12 手ですが、最初の 4 手は必然なので、残り 8 手が本番です。直近では **WFP119-5** に **Siren** が使われているので、参考にしてください。

129-11 は本作品展初登場となる藤原俊雅氏の作品。配置は同じで手番と手数だけが異なる対のツイン。いわばツインのツインです。解図は容易だと思いますので、まずはこの作品から解図を始めると良いでしょう。

解答要項

第 128 回分解答締切:2021 年 3 月 15 日(月)

第 129 回分解答締切:2021 年 4 月 15 日(木)

宛先: **k7ro.ts@gmail.com** (メールの件名に「解答」の語句を入れてください。)

解答メールが届かない場合は掲示板 (<http://k7ro.sakura.ne.jp/wait.html>) やブログ (<http://k7ro.sblo.jp/>) でお知らせください。

作品投稿について

作品投稿は随時受け付けます。原則として毎月 15 日の投稿まで当月号に掲載しますが、投稿作が一回の出題数(12 題)を越えた場合、出題時期を調整させていただきます。

宛先は解答と同じ **k7ro.ts@gmail.com** へ。

メールの件名に「作品投稿」の語句を入れてください。添付ファイルも可。機械検討済みなら出力結果のファイル添付を推奨します。

ルール説明

※WFP のページにまとめ資料 (<http://www.dokidoki.ne.jp/home2/takuji/wfprule128.pdf>) があるので、それも参考にしてください。

【協力自玉詰】

先後協力して最短手数で攻方の玉を詰める。

【中立駒】(「**罫**」あるいは「**n** 駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横に **n** を付加して表記。

取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1) 中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる（利きが非対称な駒の場合に要注意）
- 2) 中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3) 中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4) 中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5) 中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。**手番を問わず**、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6) 中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7) 中立駒でも**白玉への王手は反則**。白玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照：WFP61号「中立駒の紹介」

【PWC】

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）

（補足）

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2) 位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 取られた玉は復元しないものとする。

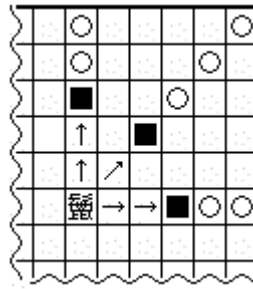
※補足

駒取りが駒位置交換になるPWCの規則は中立駒にも適用される。中立でない手番側の駒との位置交換はできないことに注意。

【Lion】（鬣）

フェアリーチェスのLion。

クィーンの利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマスを着地する。着地点に敵駒があれば取れる。



（○が鬣の利き。

■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。）

【スタイルメイト】

王手は掛かっていないが合法手のない状態にする。

【協力自玉スタイルメイト】

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイトにする。

【点鏡】

55に関して点对称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

（補足）

- ・行き所のない駒の禁則は適用されない

→初出：第108回WFP作品展（WFP127号）

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【受先】

受方から指し始める。

【All-in-Shogi】

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも1手前の局面に戻す着手は禁手とする。

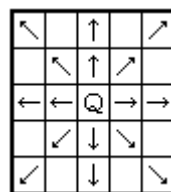
（補足）

- 1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。
- 2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。
- 3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。
- 4) 白玉を取らせる手は反則

→参照：WFP122号「All-In-Shogiの紹介」

【Queen】（Q）

チェスのQueen。飛車と角を合わせた性能を持つ。



（矢印がQの走る方向）

【強欲】

駒を取る手を優先して着手を選ぶ。

【透明駒】

位置・種類が不明の駒。

着手の合法性、攻方王手義務を満たせる可能性があれば、それを満たしているものとして手順を進めることができる。

→参照：WFP83号「透明駒の紹介」

【マドラシ】

同種の敵駒の利きに入ると、利きがなくなる。ただし、玉は除く。

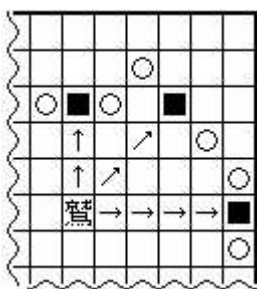
【天竺】

玉(王)の利きが王手をした駒の利きになる。

【Eagle】(鷲)

フェアリーチェスの Eagle。

グラスホッパーの変種で、Queenの利きの方向にある駒に到達した後、進行方向に対し90°曲がった場所に着地する。



(○が鷲の利き。■は敵または味方の駒。)

【Imitator】(■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。この Imitator が駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

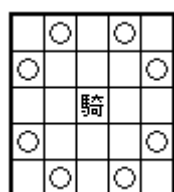
(補足)

- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitator は元の駒と同時に動く

→参照：WFP75号「Imitatorの紹介」

【Knight】(騎)

チェスの Knight。八方桂。



(○が騎の利き)

【対面】

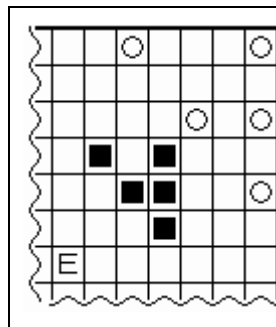
敵駒と向かい合ったとき、互いに利きが入れ替わる。

【安南】

味方の駒が縦に並ぶと、上の駒の利きは下の駒の利きになる。

【Non-stop Equihopper】(E)

フェアリーチェスの駒。任意の方向に駒を1枚跳び越えて点対称の位置に動く。行先が埋まっていると跳べない。



(■は敵または味方の駒。○がEの利き)

(補足)

- ・Equihopper と異なり、現位置と跳び先の間のマスに駒があっても跳べる。つまり合駒は効かない。

【最悪詰】

攻方はなるべく相手玉が詰まないように王手し、受方はなるべく早く自玉が詰むように応じる。

(補足)

- ・「詰める側」と「詰みを防ぐ側」が通常とは逆になっている。このため用語も逆になっており、「紛れ」を受方に、「変化」を攻方に使う。

【リパブリカン】

最終手を指すと同時に任意の空きマスから一つ選んで玉を置き、詰んでいる局面を作る。

(補足)

- 1) 双玉等において詰める対象でない玉は通常の玉と同じく、最初から最後まで盤上に存在する
- 2) 詰める対象の玉は「盤上にあるが見えない」わけではなく、詰むときに盤に出現する。従って玉がどこかにいる前提での着手の合法・非合法の判定は行わない。ただし、最終手では玉を置いた後の配置で合法局面かどうかの判定を行う。
- 3) 単玉の場合最終手を除き王手義務はない。自玉系のルールのように、詰める対象の玉と王手義務の対象となる玉が異なる場合は、王手を掛けるべき玉に対する王手義務がある。

→参照：WFP92号「リパブリカン詰の紹介」

【Siren】(汝)

フェアリーチェスの Siren (汝)。

駒を取らないときは Queen の動き。駒を取るときは Locust の動き (Queen の利きの方向にある敵駒を跳び越えその1つ先の空きマスに着地し、跳び越えた敵駒を取る)。

■ 128-4 真T氏作

All-in-Shogi協力詰 6手(受先)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 王 | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 角

■ 128-5 占魚亭氏作

a) 協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 nQ

※nQ:中立Queen

b) 協力自玉詰 4手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | 王 | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 nQ

※nQ:中立Queen

■ 128-6 たくぼん氏作

強欲詰 85手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | 歩 | 歩 | 王 | | | 驥 | | 二 |
| | 香 | 香 | ス | | 馬 | ス | | | 三 |
| 桂 | 科 | 圭 | 香 | 王 | と | | ス | | 四 |
| | | 糸 | 歩 | | 角 | ス | | | 五 |
| | 歩 | | 糸 | | | ス | 歩 | | 六 |
| | 銀 | と | と | と | と | 飛 | | | 七 |
| | | | 桂 | | | | 糸 | | 八 |
| 銀 | 銀 | 王 | 王 | 王 | 王 | | 香 | | 九 |

持駒 なし

■ 128-7 堀内真氏+高坂研氏作

マドラシ協力詰 5手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 釘 | | | | | 五 |
| | | | | | | | 歩 | | 六 |
| | | | | | | | | 銀 | 七 |
| | | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛角

■ 128-8 高坂研氏作

天竺協力自玉スタイルメイト 2手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|--|--|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 歩 | 二 |
| | | | | | 王 | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | 王 | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 角

※透明駒:攻方 0枚、受方 1枚

■ 129-3 高坂研氏作

安南協力詰 3手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | 王 | | | 一 |
| | | | | | | | 歩 | 二 |
| | | | | | 王 | | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | 飛 | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 なし
 ※透明駒:攻方1枚、受方1枚

■ 129-4 神無太郎氏作

協力自玉スタイルメイト 6手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | ■ | | 一 |
| | | | | | | | 王 | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 n飛
 ※■:Imitator
 玉以外はすべて中立駒

■ 129-5 上田吉一氏作

協力詰 9手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | 飛 | 王 | 飛 | | | | 一 |
| | 飛 | | | | | | | 二 |
| | | | 駒 | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| E | | | | | | | E | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 なし
 ※E:Non-stop Equihopper

■ 129-6 上田吉一氏作

協力自玉詰 6手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | | | 王 | | | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | 駒 | 香 | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | 王 | | | | | | 駒 | 九 |

持駒 なし
 ※駒:Lion

■ 129-7 真T氏作

最悪詰 5手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 玉 | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 九 |

持駒 なし
 ※透明駒:攻方1枚、受方1枚

■ 129-8 真T氏作

最悪詰 7手

| | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |
| | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 玉 | 六 |
| | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 金4
 ※透明駒:攻方0枚、受方1枚

■ 129-9 変寝夢氏作

リバプリカン協力白玉詰 6手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | 飛 | | | | 二 |
| | | | 王 | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | 銀 | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | 角 | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 桂2
受方持駒 なし

■ 129-10 変寝夢氏作

協力白玉詰 12手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | 王 | | 汝 | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | 王 | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 なし
※汝:Siren

■ 129-11 藤原俊雅氏作

a1) 協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | 王 | | | | 二 |
| | | | | 角 | | 桂 | 飛 | | 三 |
| | | | | | | 王 | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | 銀 | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

a2) 協力詰 4手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | 王 | | | 皇 | 二 |
| | | | | 角 | | 桂 | 飛 | | 三 |
| | | | | | | 王 | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | 銀 | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

b1) 協力詰 3手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | 王 | | | 皇 | 二 |
| | | | | 角 | | | 飛 | | 三 |
| | | | | | | 王 | | | 四 |
| | | | | | | 桂 | | | 五 |
| | | | | | | 銀 | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

b2) 協力詰 4手(受先)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | 王 | | | 皇 | 二 |
| | | | | 角 | | | 飛 | | 三 |
| | | | | | | 王 | | | 四 |
| | | | | | | 桂 | | | 五 |
| | | | | | | 銀 | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

以上

「第 54 回神無一族の氾濫」投稿作品募集

「第 54 回神無一族の氾濫」への参加を募ります。今回のお題は「将棋の格言」です。

将棋の格言に忠実な手順や、格言に反する手順をフェアリーらしく表現した作品をお寄せください。

例) 「三桂あって (自分が) 詰まぬことなし」

協力自玉詰 6手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 王 | 飛 | 六 |
| | | | | | | | | 飛 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | 王 | 桂 | 九 |

持駒 桂3

18 桂 同飛生 38 桂 同飛生

18 桂 同飛上成 まで 6手

なお、作品投稿時は関連する格言を添えてください。

出題時は元の格言 (上の例なら「三桂あって詰まぬことなし」) を明示しますが、作品と格言がどう関連するかは伏せて出題します。

また、1 題通常の協力詰 (ばか詰) を募集します。こちらは必ずしもお題とは関係なくとも構いませんが、お題に合った作品を優先して採用したいと思います。

| | |
|-------|--|
| 作品要件 | 将棋の格言にちなんだ作品 |
| 募集締切 | 2021 年 4 月 18 日 (日) |
| 募集作品数 | 4 + 1 (協力詰枠) |
| 送り先 | 神無七郎 (k7ro.ts@gmail.com) 上記宛先へ E-mail でお送りください。 |
| 備考 | 1 人何作でも投稿可。採否は 4 月 25 日までに通知します。 |

推理将棋第136回出題

将棋についての話をヒントに将棋の指し手を復元するパズル、推理将棋の第135回出題です。はじめての方は どんな将棋だったの？ - 推理将棋入門 をごらんください。

解答、感想はメールで2021年3月10日までに TETSU まで (omochabako@nifty.com) メール の 題名は「推理将棋第136回解答」をお願いします。

推理将棋第136回出題 担当 Pontamon

余詰量産だった年賀推理のことは忘れて、今月からは心機一転で通常出題に戻ります。今後も中間ヒント（作者ヒント）を投入していきますので、ふるっての解答をお願いします。今月は条件に「金」がある3作品を選題しました。

■ 本出題

136-1 初級 けいたん 作
初手と7手目は金 8手
先手着手の半数がひとつの金の着手。2段移動？2筋移動？元の場所へ戻る？

136-2 中級 NAO 作
高飛車くん（その2） 9手
前回の高飛車くんは先手でした。さて、今回はどちらが高飛車くんでしょう？

136-3 上級 Pontamon 作
誰が何処へ 11手
11手だと8筋への"金打"はどちらも可能。9手目に先手の"金打"も可能です。

136-1 初級 けいたん 作
初手と7手目は金 8手

「8手で詰みか」
「初手と7手目は金の着手だったね」
「金は1枚しか動いていないな」
さて、どんな手順だったのでしょうか。
(条件)
・8手で詰み

- ・初手と7手目は金の着手
- ・金は1枚しか動いていない

136-2 中級 NAO 作
高飛車くん（その2） 9手

「見たかい。俺の5段飛車」
「相変わらず高飛車な奴だな。たったの9手で詰みか。5段目の飛車より後の41金が勝負を分けたね」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・9手で詰んだ
- ・5段目の飛の手より後に41金と指した

136-3 上級 Pontamon 作
誰が何処へ 11手

「あっちの将棋は11手で詰んだってね」
「うん、棋譜をチラッと見たけど"金打"の手があつたよ」
「何処へ金を打ってた？」
「よく見なかったけど8筋だったみたい」

さて、どんな手順だったのでしょうか。

(条件)

- ・11手で詰み
- ・棋譜に8筋への"金打"があつた

第127回WFP作品展の結果を報告します。
 今回の出題は全12題。解答者数6名。全題正解者なし。解答の内訳は以下の通りです。

【第127回WFP作品展成績】(敬称略)

◎:双方解 ○:正解 ×:誤解 -:無解

| 解答者名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 計 |
|---------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|---|
| たくぼん | ○ | ○ | × | - | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 9 |
| 占魚亭 | ○ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | 9 |
| 一乗谷酔象 | - | ○ | ◎ | ○ | - | ○ | - | ○ | ○ | - | - | ○ | 8 |
| はなさかしろう | - | × | ○ | ○ | ○ | × | - | ○ | - | - | ○ | ○ | 6 |
| 変寝夢 | - | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | - | 2 |
| 神在月生 | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | ○ | 1 |

難解作が多かったせいか、解答募集期間が通常より一ヶ月長かったにもかかわらず、解答者数は6名に留まりました。全題正解者はなく、二桁の正解に届いた方もいらっしゃいませんでした。そんな状況でも、各題に正解が寄せられ、正解者ゼロとなる作品はなかったのので、解答陣は健闘したと思います。

既報の通り127-3には余詰がありました。詳しくは解説で紹介しますが、ちょっと気付きにくい手順です。作意と余詰の双方を解答した一乗谷酔象氏に敬意を表します。

■ 127-1 占魚亭氏作 (正解2名) ※実質1名!

協力自玉スタイルメイト6手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 王 | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | 王 | | | | | | | | |
| 四 | | | ■ | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒 n騎
 ※■:Imitator
 n騎:中立Knight

【ルール】

•Imitator (■またはI)

着手をしたとき、その着手と同じベクトルだけ動く駒。このImitatorが駒を飛び越えたり、駒のある地点に着手したり、盤の外に出たりするような着手は禁止。これは王手の判定にも適用される。

(補足)

- ・駒を打ったときは動かない。
- ・Imitatorは元の駒と同時に動く

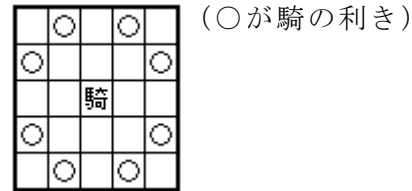
→参照：WFP75号「Imitatorの紹介」

•協力自玉スタイルメイト

先後協力して最短手数で攻方をスタイルメイト(王手は掛かっているが合法手のない状態)にする。

•Knight (騎)

チェスのKnight。八方桂。



•中立駒 (「𠩺」あるいは「n駒」)

どちらの手番でも動かせる駒。

(補足)

横向きの字か横にnを付加して表記。
 取り方や動かし方は以下の細則に従う

- 1)中立駒の動きは現手番の駒としての動きとなる(利きが非対称な駒の場合に要注意)
- 2)中立駒は現手番の駒として成れる場合のみ、成ることができる
- 3)中立駒はどちらの手番でも取ることができ、持駒になる。この時、所属は取った側の持駒だが中立性は失わず、再び盤に戻ったときには中立駒として振舞う。
- 4)中立駒は現手番側の駒を取れない。相手側の駒や、中立駒は取れる。
- 5)中立歩による打歩詰は禁止。二歩禁も適用される。手番を問わず、中立駒の歩や通常の歩がある筋に、更に中立駒の歩を打つことはできない。
- 6)中立駒は行き所ない駒にならない。
- 7)中立駒でも自玉への王手は反則。自玉への王手となっているかどうかの判定は、現手番が終了し、相手側が着手する前に行う。

→参照：WFP61号「中立駒の紹介」

【解答】

54n 駒 46n 駒[I56] 65n 駒[I75] 72 玉[I74]
53n 駒[I62] 81 金 まで 6 手

(最終形)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 王 | 馬 | | | | | | | | 一 |
| | | 王 | ■ | | | | | | 二 |
| | | | | 駒 | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

中立 Knight+Imitator (その3)。

飛車を出さないパターン。

これも易しいと思います。

Imitator+中立 Knight を 3 作作っての感想ですが、あまり良いものができないので Knight の場合は通常属性で十分かなと。オール中立駒も試してみようと考えていますが、いいものが作れそうな気はしていません。

【解説】

「詰」に見えるスタイルメイト。

最終手は Knight (駒) の王手に対し Imitator の壁として金を打つ手。この手は逆王手のように見えますが、Imitator の働きで王手は掛かっていません。

でも攻方玉や中立駒が動くと Imitator も動いてしまい、金の利きが自玉へ王手となるので、どの駒も動かさせません。玉を人質にして駒の動きを止める「ピン止め」が掛かっているのです。

占魚亭氏の「Imitator&中立駒」シリーズの過去2作(WFP124-4 及び WFP126-3)では、飛を使って中立駒をピン止めしていました。しかし Imitator を利用したピン止めは、飛角香のような走り駒(ライダー系の駒)だけでなく、様々な駒で実現することができます。

また、Imitator のピン止めには複数の駒を同時にピン止めできるという特徴があります。それを強調するような作品も見てみたいですね。

作者は今回のシリーズについて「Knight の場合は通常属性で十分かな」とコメントしています。中立駒を使う必然性がある主題は何か。良いアイデアがあったら、ぜひ作品化して本作品展にご投稿ください。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

協力自玉にしか見えない詰め上がりですね。n 駒の動きを抑えるには人質(玉)を取らなければならないということですね。

たくぼんさん

これ実は間違っって協力自玉詰で詰ましていたんだけど、

52 駒 72 玉[I63] 64 駒[I75] 71 玉[I74]

52 駒[I62] 81 金 迄 6 手

これも成立しているようですね。

a)協力自玉スタイルメイト、b)協力自玉詰のツインでもいけたと思いますが、遠くへ一度行く 2 手目に惚れたのかな。

☆ツインにするのは正直微妙ですね。b)が「引き立て役」になってしまいそうです。



■ 127-2 上田吉一氏作（正解4名）

PWC協力自玉詰 48手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 王 | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 王 | 二 |
| 王 | | | | | | | | | 三 |
| 桂 | 龍 | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

※74龍は中立駒

【ルール】

• PWC

取られた駒は取った駒が元あった場所に復元する。（駒位置の交換となる）

（補足）

戻り方等は以下の細則に従う

- 1) 駒の成・生の状態は維持されたまま位置交換される。
- 2) 位置交換の結果、相手駒が二歩になったり、行きどころのない駒になる場合は、通常の駒取りと同じで、盤上に戻らず、自分の持駒になる。
- 3) 駒取り時、駒が戻るまでを一手と見なす。
- 4) 取られた玉は復元しないものとする。

※補足

駒取りが駒位置交換になるPWCの規則は中立駒にも適用される。中立でない手番側の駒との位置交換はできないことに注意。

• 協力自玉詰

先後協力して最短手数で攻方玉を詰める。

【解答】

71n 龍 62n 龍 51n 龍 42n 龍 31n 龍 22n 龍
11n 龍 同金/12n 龍 21n 龍 22n 龍 11n 龍/22 金 12n 龍
21n 龍 同金/22n 龍 31n 龍 32n 龍 21n 龍/32 金 22n 龍
31n 龍 同金/32n 龍 41n 龍 42n 龍 31n 龍/42 金 32n 龍
41n 龍 同金/42n 龍 51n 龍 52n 龍 41n 龍/52 金 42n 龍
51n 龍 同金/52n 龍 61n 龍 62n 龍 51n 龍/62 金 52n 龍
61n 龍 同金/62n 龍 71n 龍 72n 龍 61n 龍/72 金 62n 龍
71n 龍 同金/72n 龍 81n 龍 85n 龍 82 桂成 同金/71 圭
まで 48 手

（詰上り）

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 王 | 圭 | | | | | | | | 一 |
| | 王 | | | | | | | | 二 |
| 王 | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | 龍 | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

攻方持駒 なし
受方持駒 なし

【解説】

使用駒5枚の簡素図式。この形から中立龍鋸と複雑な金鋸が現れます。玉は終始不動玉のまま。受方でも動かせる中立駒だからこそ、玉が不動のままでも鋸引きが可能なのです。

序奏は金に近づく目の粗い龍鋸。12金に中立龍が隣接してから、PWCの駒交換で金を運ぶメインの趣向が始まります。

ここでの中立龍の役割は金鋸のアシスト。自らが金に取られることで、金の一段目への移動を実現。位置調整後、今度は金を取ることで金を斜めに誘い、金を二段目に移動します。再び位置を調整して金の下に潜り、金に取られる…この6手サイクルの繰り返して金が一筋ずつ左に移動していき、鋸引の軌道を描きます。なお、金を銀に変えると鋸引のパターンも少し変わるので、考えてみてください。

金が71まで来たらよいよ収束。金で王手して貰う前に、中立龍を85に移動しておくのが抜け目のない前準備。この目的はもちろん、攻方玉の退路封鎖です。最終手で金を82に呼んで自玉を詰めますが、82金を中立龍で取ることはできません。「82n 龍/85 金」はこの瞬間は受方玉への王手ですが、受方手番では攻方玉に対する王手になります。つまり自玉に王手を掛ける反則になってしまうのです。

最小限の駒数で鋸引による駒の呼び出しを成立させ、序奏と収束も完備。趣向作のお手本とも言える高い完成度の作品です。

中立駒による鋸引の例としては、本作品展ではWFP65-9（変寝夢氏作）があります。

[参考] 中立桂鋸 (WFP65-9 変寝夢氏作)

協力白玉詰 16手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|--|--|--|---|---|---|
| 鬣 | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| 桂 | | | | | | | | G | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 玉 | 八 |
| | | | | | | | ス | | 九 |

攻方持駒 なし

受方持駒 なし

※鬣 : Lion、G : Grasshopper

※93桂は中立駒

※双方不動玉

81n 桂生 73n 桂 61n 桂生 53n 桂
 41n 桂生 33n 桂 21n 桂生 13n 桂
 21n 桂生 33n 桂 41n 桂生 53n 桂
 61n 桂生 73n 桂 19 鬣 同とまで 16手

これは何と桂による鋸引。桂が中立駒だからこそできる手順です。この作品や本局を見ると、中立駒を使って、これまでに見たことのないような趣向が作れそうな気がしますね。

【短評】

変寝夢さん

こんな簡単な構図で、n 龍ノコが入るんですね。

占魚亭さん

復路の n 竜鋸が見事。流石の完成度。

はなさかしろうさん (※誤解)

金が 72 まで来たところで…慎重になります。

☆はなさかしろう氏の解答は 41 手目から「61n 龍、64n 龍、82 桂成、同金、同成桂、同金、同成桂、同金まで」となっていました。これは以下「同金/72 圭 同圭/72 金」が続いて不詰。本作品展では特に注釈がない場合「連続王手の千日手」の禁則は適用しません。

一乗谷酔象さん

不思議な n 龍鋸で金を呼び込む。

たくぼんさん

PWC でこそその趣向作ですね。

センスが光ります。

■ 127-3 はなさかしろう氏作 (正解 2 名)

※余詰、正解者実質 1 名

推理将棋×透明駒 #2

[条件]

- ・駒 1 枚を透明化した
- ・4 手で詰んだ
- ・通常駒を取る手は 1 回

【ルール】

• 推理将棋

将棋についての会話をヒントに将棋の指し手を復元する。

• 推理将棋×透明駒

将棋の初形から指定枚数の駒を透明化した (位置・所属を不明とした) 状態から、条件に合う詰手順を求める。

玉も透明化の対象で、二玉詰や玉が持駒になる可能性もある。

→詳細は WFP150 号のルール説明を参照

【解答】

48 玉 49 X 38 玉 39 金(49 X=全) まで 4 手

(詰上り)

持駒 なし

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 皇 | 科 | 爵 | 季 | 王 | 季 | 爵 | 科 | 皇 | 一 |
| | 龍 | | | | | | 皇 | | 二 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 七 |
| | 角 | | | | | 玉 | 飛 | | 八 |
| 香 | 桂 | 銀 | 金 | | 王 | 季 | 桂 | 香 | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

検討：玉を透明化する場合と玉以外を透明化する場合に分けて検討します。

《 玉を透明化する場合 》

玉位置が5～9段目の場合は明らかに詰まず、初手で透明玉を後手陣内に送り込む必要がありますが、後手陣内の全ての空きマスは後手駒の利きがありますので、初手は玉で後手の駒を取ることになります。取れる駒は23、43、53、63の歩、あるいは両金（51玉を透明化する場合）です。

歩を取る場合、例えば53X 42金 63玉 62飛 となり、いずれも不詰。

金をとる場合、41X に対して32銀や42飛ならば2手で詰んでしまい、51金以下は不詰。61X以下は4手以内の詰みはありません。

《 玉以外を透明化する場合 》

33歩を透明化し、後手陣の角を活かす詰み筋があります。

48（銀 or 飛） 77角成 58玉 67Xまで

この順は通常駒を2枚取ります。

上記の順以外では後手陣の通常駒を戦力にできません。

単駒詰は、先手が58金右と68を塞ぐ手を指し、後手が39に龍を持ってくる形が手数上可能ですが、2手目の王手に対処できないので不成立。従って、2手目に先手陣の駒を取って4手目に打つ形が基本になります。取り得る先手陣の駒は飛角金銀歩ですが、歩は打てず、飛角は金の防御を抜けず、いずれも不詰です。

銀を取る方法のうち、68玉 79X 78玉 や 58金右 39X 48玉 などは金の防御を抜け出すことができますのですが、取った駒が銀なので不詰。残るは金を取る手です。

28銀 49X 58玉 は不詰。

68金 49X 58玉 59金 は透明駒が47～67のいずれかの歩である可能性があるため詰んでいません。しかし、4手目の駒打ちで透明駒を限定できれば、作意解のように先手の壁駒が健在であることが証明できます。

【解説】

推理将棋×透明駒。実戦初形から、指定枚数の駒が透明駒となっており、盤面も見えない状態で、推理将棋のように条件を満たす手順を求める問題です。

このルールでは手数が偶数手の場合、後手に王手義務があります。つまり後手から見て、相手の手番から始まる手数指定付きの協力詰と解釈することができます。

本作の指定手数はわずか4手。実戦初形で最も早く相手陣に到達できるのは角なので、33歩を透明化する2手目77角成の筋は最初に思い浮かぶところです。具体的には以下の手順です。

48銀 77角成 58玉 67X(=と) まで4手

ところが、これは「通常駒を取る手は1回」の条件に反します。

次に、透明化した駒を最初から相手陣に潜り込ませておく作戦が考えられます。その駒で金を取りさえすれば何でも詰みそうに思えますが、そうではありません。例えば以下の手順を指定してみましょう。

68金 49X 58玉 59金 まで4手

これだと、透明化したのが47・57・67の歩のどれかで、と金になって潜伏していた場合に詰みません。何とか七段目の壁を維持しつつ、金を取ることはできないでしょうか？

それは可能です。

九段目にいる銀が透明化し、相手の駒として潜伏しているとすれば、七段目の歩が透明化した可能性は消すことができます。九段目の金を取ればその時点で透明駒の潜伏場所は八段目か九段目に限定されるので、八段目に透明駒の成駒がいる可能性を消せば良いことになります。

それを実現するのが作意の初手48玉。

これで38や58に透明駒の成駒がいる可能性はなくなりました。次に透明駒で金を取れば透明化した駒は銀であり、相手の駒として38銀・58銀・39全のいずれかの状態で潜伏していたことになります。

この後は28飛を壁駒として活用し、39地点に金を打って詰み。左右逆の手順だと、88にいるのが角なので詰みませんし、最終手48金だと左銀が透明化していた場合に詰みません。

これで作意は分かりましたが、本作には面白い余詰防止策が採られています。

それは「4手」という手数。「推理将棋×透明駒」では「二玉詰」も可としているので、単純に最短手数で詰めるなら2手で詰みます。

手順は「41X 32銀(41X=玉) まで2手」と「41X 42飛(41X=玉) まで2手」の2つ。これは手数が4手だと詰みません。

手数が余分にあることで却って詰まなくなるのは、決して珍しい現象ではありません。頭金の1手詰で3手以上だと詰まない図を作るとは容易です。「最短手数で」と「指定手数で」の条件は異なるものなのです。

最短ではなく指定された手数で詰める変則詰将棋はあまり開拓が進んでいません。fmzaではルール指定に「!JD」を付加すると「手数指定」ができるので、ぜひ試してください。

作者はこうした二玉詰のケースを含め、多くの紛れをチェックしていたので、検討は充分に行われているように見えたのですが、残念なことに、思わぬ穴がありました。指摘は一乗谷酔象氏です。

【余詰】（一乗谷酔象氏指摘）

68 飛 49X (=全) 58 玉 48 金 まで 4 手

(詰上り)

持駒 なし

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 皇 | 科 | 龍 | 季 | 王 | 季 | 龍 | 科 | 皇 | |
| 二 | | 飛 | | | | | | 馬 | | |
| 三 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | |
| 四 | | | | | | | | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | |
| 八 | | 角 | | 飛 | 玉 | 季 | | | | |
| 九 | 香 | 桂 | 銀 | 金 | | 王 | | 桂 | 香 | |

持駒 なし

初手 68 飛で八段目に透明駒が潜伏する可能性を消すのがミソ。49 金を取った時点で、それが 39 から来た駒であり、透明駒が1枚であることから2手目 49 全が確定します。

一乗谷酔象氏は作意手順や、この余詰の他に、「4 手」という手数指定で二玉詰の余詰筋が消えていることにも言及しており、完璧な解答でした。

上記の余詰を早期に指摘していただいたことで、早目に余詰があることの告知もできました。改めて感謝申し上げます。

【短評】

はなさかしろうさん

一乗谷酔象さんに余詰をご指摘いただいた由、たいへんありがとうございます。完全に

脱帽です。

作意は 48 玉 +49 38 玉 39 金まで ですが、68 飛 +49 58 玉 48 金 まで は全く思いつきませんでした。

作意を成立させるには、「通常駒を取る手は1回」をやめて「2 度着手した駒があった」とするのが一案ですが、結果としては「駒 1 枚を透明化した / 4 手で詰んだ」では、作意が最も平凡のような気がします。

ご指摘いただいた余詰を解の一方に使った「通常飛の手があった」で2解が成立すれば面白そうですが、「推理将棋×透明駒」は想像以上に詰み筋が豊富なようですので、顔を洗って出直さないといけませんね。

一乗谷酔象さん

面白い試みだけに余詰は残念。

たくぼんさん (※誤解)

48 金 +69 58 玉 59 金 迄 4 手

68 金 +49 58 玉 59 金 迄 4 手

これは作意ではないでしょうね。

他は見つかりませんでした。

☆はい。解説文中で触れた通り、47~67 の歩が透明化して八段目に潜伏していた場合、この手順では詰みません。



■ 127-4 さんじろう氏作 (正解 3名)

協力詰 19手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | Q | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | ♞ | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂3
※Q:Queen王

【ルール】

• 協力詰

先後協力して最短手数で受方玉を詰ます。

• Queen (Q)

チェスの Queen。

飛車と角を合わせた性能を持つ。

| | | | |
|---|---|---|---|
| ↖ | ↑ | ↗ | |
| ↖ | ↑ | ↗ | |
| ← | ← | Q | → |
| ↙ | ↓ | ↘ | |
| ↙ | ↓ | ↘ | |

(矢印がQの走る方向)

※本局と次局では双方の玉が Queen の利き

【解答】

49 桂 53Q 45 桂 43Q 33 桂成 25Q
37 桂 24Q 34 圭 51Q 43 桂 53Q
45 桂 63Q 53 桂成 41Q 51 桂成 31Q
42 圭 まで 19手

(詰上り)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | 圭 | | ♞ | | | 一 |
| | | | | | 圭 | | | Q | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | 圭 | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【作者コメント】

桂が三枚の場合は詰上がりに三枚とも全部必要になるので、詰上がりの位置の近くまで(大抵上辺)運ばなければならない。そのために手数長いものには二枚桂や二枚圭の追い手順が出てきます。上の図の場合は初手の 49 桂が最後のとどめをさすことになります。急転直下の収束が鮮やかだと思います。

【解説】

前回の Knight 王に続く発掘調査物。

今回は Queen 王双裸玉&持駒桂という条件下での調査の結果から特に面白い作品が2題選ばれています。

まずは調査の条件について、投稿原稿から引用します。

ルール：ばか詰(協力詰)、双方の王将がチェスのクイーン(女王)の動きをします。クイーンは成りません。

持駒を桂だけに限定した上記ルールで、今回双裸玉を全検(ほぼ)してみました。解析には fmza を使用しました。クイーン王と桂馬の組合せは意外にバランスが良いと思いました。

当初持駒桂 4 枚のものがターゲットで、左右対称形を除いて完全作が 82 題ありました。その過程で持駒が一枚余るものが数題出てきた。そこで、しかたなく持駒桂 3 枚のものを全検せざるをえないことになってしまったというのが真相です。持駒が一枚減ると、手数は長くなりかつ不詰のものもありということで、かなり手間取りました。最後は意地になって、52 題の完全作をリストアップすることができました。ただし不詰については厳密に証明できたわけではありません。

もう一つ、過去作との衝突のこと。

fairy database で、クイーン、クイーン王、女王(詰)などで検索してみました。クイーンを用いたばか詰は相当ヒットしましたが、双玉のものはばか自殺詰くらいしか見当たらなかった。ましてや双裸玉自体皆無でした。探し方が悪い可能性はありますが。

ということで、双方の玉が Queen (Q) の性能になった双裸玉で、持駒桂 3 枚と持駒桂 4 枚の場合について調査が行われたわけです。

本局は持駒桂 3 枚から選ばれた問題。

「三桂あって詰まぬことなし」という格言もありますが、Qはとても強力な駒なので、桂3枚で詰むのか不安になりますね。攻方にもQ王があるので多少はましですが、王で王手はできません。攻方Q王はあくまでアシスト役です。調査の中で桂3枚だと不詰のパターンが見つかったようですが、この点については若干疑問が残ります（詳しくは次局の解説で述べます）。

本局の解き方としては、やはり詰上りから考えるのが常道です。王で王手はできないので、12Qは不動。桂が生のままでは頼りないので、3枚とも成桂にすることを考えると、正解に辿り着きやすいのではないのでしょうか。

しかし、詰上りは予想通りでも、手順は予想以上に凄いです。自由奔放に動けるはずのQの軌跡が唯一に定まるだけでも驚きですが、初手の49桂が三段跳ねして成り、最終手でとどめを刺す展開は、まるで作ったような様式美を感じさせます。

作者（発掘調査物なので探求者と言った方が良いでしょう）の審美眼を通して、そのような作が選ばれているわけですが、そもそも存在していなければ選びようがありません。

フェアリーの世界には、このような宝石が人知れず眠っていることを改めて感じます。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

打った49桂の活用が面白い。そこまで効率の良い手順とは思えないのに余詰がないのは不思議です。でもよく見たら、合駒絶対ない状況なんですね。

占魚亭さん

三段跳ねて成った桂でトドメを刺す。

はなさかしろうさん

桂の王手は左右どちらからでも良さそうなのに、一意に決まっているのが素晴らしい…などと、本問を解いているときはこの詰み形しかないと思っていたわけですが。

一乗谷酔象さん

8方向の効きをどう潰していくか。43桂を打つための24Qがなかなか見えなかった。

たくぼんさん（※無解）

解けません。Q王の可動域が広すぎて詰上り

が想定できないのが辛い。

■ 127-5 さんじろう氏作（正解1名！）

協力詰 25手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | Q | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 〇 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂4
※Q:Queen王

【解答】

28桂 86Q 78桂 53Q 45桂 43Q
33桂成 41Q 32圭 74Q 66桂 73Q
65桂 62Q 54桂 61Q 53桂生 34Q
33圭 35Q 34圭 45Q 35圭 43Q
44圭 まで 25手

(詰上り)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | Q | | 二 |
| | | | | 桂 | 〇 | | | | 三 |
| | | | | 桂 | 圭 | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | 桂 | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

双裸女王詰の中でも相当変態的な詰上がりです。詰上りに生桂三枚が残るのはこの形だけではないですが、色々特徴の多い問題になっています。22Qの横筋を止めていた32圭が動き出す収束7手が予想外でそれまでの流れとのコントラストが際立っています。

【解説】

本局は持駒桂4枚の調査結果からの選局。

成桂3枚でも詰めるのに苦労したのに、本局は詰上りでの成桂は1枚のみ。しかも盤の端ではなく、空中でQを捕らえる驚愕の詰上りです。初見でこの詰上りを当てられる人はいないでしょう。

攻方は前局の12Q王から22Q王になっています。従って、最初に想定される詰上りは前局を横に一つ移動したのものになるのが普通でしょう。横に一つずれた分、受方Q王の1筋への脱出を防がねばなりません。持駒の桂も1枚増えているので、何とかかなりそうに思えます。

ところがこの方針では手数不足です。「28桂 14Q 26桂 …」と進めても、29手掛かってしまいます。

どこで効率を落としたかを考えると、初手に打った28桂に思い至ります。前局を平行移動した詰上りではなく、初手に打った28桂をそのまま活かした詰上りがないか……そう考えることで、初めて本局の詰上りが発見できます。

もちろん、詰上りが分かりさえすればそれで万事解決ではありません。2手目Q王の大移動。32まで行って35まで戻る成桂など、順算では発見困難な手順も多く、この詰上りに大ヤマを張り、覚悟を決めて取り組まないと、解ける物ではないでしょう。

前局の様式美を感じる桂の使い方と異なり、人外の存在が生み出したかのような、凄みを感じる手順の作品でした。

ところで、本局の持駒桂4枚を持駒桂3枚にした場合、果たして詰みはあるのでしょうか？

答えはYesです。手数を気にしなければ桂3枚でも詰めることは可能です。

【参考】本局の持駒が桂3枚だったら
28桂 43Q 55桂 73Q 63桂成 74Q
64圭 75Q 65圭 85Q 97桂 67Q
66圭 57Q 56圭 47Q 46圭 37Q
36圭 15Q 26圭 14Q 15圭 34Q
24圭 43Q 33圭 44Q 36桂 41Q
32圭 52Q 44桂 62Q 52桂成 72Q
62圭 82Q 72圭 92Q 82圭 93Q
83圭 94Q 84圭 95Q 85圭 51Q
42圭 62Q 52圭 63Q 53圭 64Q
54圭 65Q 55圭 87Q 86圭 57Q
56圭 67Q 66圭 77Q 87圭 68Q
67圭 78Q 77圭右 79Q 78圭 89Q
79圭 98Q 88圭引 99Q 89圭寄
まで 77手 (非限定あり)

Qを金で詰めるパターンは、昔少し調べたことがあって、手数や非限定を気にしなければ、持駒金3枚あれば詰むことが分かっていました。ですから、(最初から王手が掛からないような場合は別ですが)持駒桂が3枚の場合に「不詰のものもあり」という今回の調査結果は意外に感じています。桂は成らないと金の性能を得られないせいかもしれません。この点については、詳細なデータの公開を待ちたいと思います。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

空中で詰むのは意外。詰みに28桂も参加しているところがよかった。

はなさかしろうさん

初手28桂と前問の詰み形との相性が悪いので早めに見直したところ、是非実現したくなるこの詰み形が見つかってまず一驚。

54桂の実現が鍵ですが、逆算すると圭は42でなくて32にいて欲しいわけで、2手目13Qとできれば詰むのに…などと、だいぶ遍歴しました。86Qから53Qと桂2枚の跳ね上がり気が気持ち良かったです。

☆本局唯一の正解者は、はなさかしろう氏でした。強豪解答者の挑戦をことごとく跳ね返した難問を見事に突破しました。正直、出題時は正解者ゼロの危惧もしていましたが、これは快挙と言って良いでしょう。

一乗谷酔象さん (※無解)

詰形を3つ考えたがどれも届かなかった。(参考解)4に類似の詰形で29手掛かった。
28桂 61玉 53(73)桂 51玉 61桂成 53玉
45桂 43玉 33桂成 44玉 36桂 14玉
26桂 41玉 32成桂 52玉 44桂 43玉
33成桂 53玉 52桂成 35玉 34成桂 45玉
44成桂 63玉 53成桂 41玉 52成桂(29手)

■ 127-6 神無太郎氏作（正解3名）

点鏡協力自玉スタイルメイト ♪

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | 王 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 桂

【ルール】

• 点鏡

55 に関して点对称な位置にある 2 つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

(補足)

・行き所のない駒の禁則は適用されない

→初出：第 108 回 WFP 作品展 (WFP127 号)

【解答】

92 桂 17 玉 93 桂生 92 桂 26 王 84 飛
16 王 94 桂 まで 8 手

(最終形)

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|---|---|--|--|--|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| 科 | | | | | | | | | 二 |
| 桂 | | | | | | | | | 三 |
| 科 | 進 | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | 王 | 六 |
| | | | | | | | | 王 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【解説】

攻方玉が大活躍する作品。

4 回の王手はすべて攻方玉が掛けています。そのうち 3 回（初手以外）はすべて「玉が本来の利きに戻る」ことによる王手。性能変化ルールを最大限に活かした構成です。

性能変化ルールにおける自玉スタイルメイ

トの基本は攻方玉を弱い駒にすることですが、本局では王で王手を掛けるため、受方玉も弱い駒に変化させます。前半 4 手で双方の玉を桂にするのが特徴的です。

手順中で良いアクセントになっているのが、6 手目の 84 飛。最終手で攻方玉を桂にしたとき、その跳び先を飛で睨むのが目的です。斜めに利かない飛は接近戦では意外と弱い駒なので、安南等のルールでも玉の利きを弱める目的で用いられます。それでいて遠距離には強いので、実に便利な駒なのです。

忘れてはいけないのは、本局のゴールが「スタイルメイト」であること。持駒だった桂が盤上に残っていますが大丈夫でしょうか？

もちろん大丈夫です。93 桂が動くと 17 玉の利きが復活して、自玉に王手を掛けてしまうので動けません。そもそも玉同士が接近戦をしていたのは、このピン止めを見越したものでした。

今月は 127-1 でも「玉を人質にとって動けなくする」ピン止めが登場しました。Imitator も駒の動きに制約を加えるという意味で性能変化ルール的一种とみなせるので、性能変化ルールでは飛角香以外でもピン止めが可能であることを念頭に置いておくと良いと思います。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

これは解けるかもと思いましたが、5 手目 2 6 玉が見えず終了。2 手目 2 7 玉の筋ばかり追っかけてました。9 2 桂、2 7 玉、8 3 桂生、9 2 駒打とか。

占魚亭さん

便利な桂。

はなさかしろうさん（※誤解）

いろいろありそうで、試行錯誤して辿り着いた不思議な形。解の実感が薄かったです。

☆はなさかしろう氏の解答は 2 手目と 3 手目が「27 玉、83 桂生」となっていました。これだと 6 手目 84 飛が受けになりません。単なる誤記かとも思いましたが、2 手目と 3 手目自体は合法手なので、誤解として処理させていただきました。

一乗谷酔象さん

17 か 27 か迷う。遠い所からアプローチしや

すい角が登場せず桂が活躍。

たくぼんさん

共に桂に変身する玉もユニークだが、飛打がなるほどの好手でした。



■ 127-7 たくぼん氏作 (正解2名) ※実質1名!

禁欲協力詰 63手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 銀 | 四 |
| | | | | 金 | 香 | 香 | 歩 | | 五 |
| | | | | 香 | 金 | ス | | | 六 |
| | | | 金 | 香 | | ス | ス | | 七 |
| | | | 歩 | ス | ス | | ス | | 八 |
| | | | 駒 | | 王 | | 金 | | 九 |

持駒 銀2歩

【ルール】

・禁欲

駒を取らない手を優先して着手を選ぶ。

【解答】

- 29金 49玉 39金 同と直 38銀 同玉
- 37金 28玉 38金 29玉 28金 19玉
- 29金 同玉 38銀 28玉 29銀 37玉
- 28銀 38玉 27銀 28玉 29歩 37玉
- 38歩 同と引 同銀 36玉 27銀 37玉
- 38歩 同と 26銀 48玉 37銀 39玉
- 28銀 48玉 39銀 49玉 38銀 48玉
- 49銀 37玉 48銀 27玉 28歩 26玉
- 27歩 36玉 37銀 27玉 28銀 38玉
- 39銀 37玉 38歩 27玉 28銀 26玉
- 27歩 36玉 37歩 まで 63手

(詰上り)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 銀 | 四 |
| | | | | | 金 | 香 | 香 | 歩 | 五 |
| | | | | | 香 | 王 | | | 六 |
| | | | | 金 | 香 | 歩 | 歩 | ス | 七 |
| | | | | 歩 | | | 銀 | ス | 八 |
| | | | | 駒 | | | | | 九 |

持駒 なし

【解説】

密室の中に「と金」が一杯。

邪魔な「と金」を片付けて銀と歩で詰ますことは明白です。「禁欲」なので「と金」を消すのは大変そうですが、駒を取らざるを得ない状況を上手く作ればどうにかなるだろう……そう思って解図に臨んだ人も多いでしょう。

確かにそれは間違っていないのですが、大きな落とし穴があります。それは「と金を一掃すること」を目標にしてしまう罠です。おそらくその方針で解いた人は70手以上の手数がかかったため、解図を断念したと思います。

当初の目標が間違っていたことに気付いた人は、「17とは残し、それ以外を消す」という方針に切り替えたことでしょうか。しかしこれも充分ではないのです。しかも、この方針でも65手までは手数を短縮できるので、解図方針それ自体を見直す気にはなかなか出来ません。

実は本局の解図には「17とだけでなく18とも残しておいて良い」ということに気付く必要があるのです。

それを具体化する場面が14手目に訪れます。

【途中図】13手目29金を指した局面

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | 銀 | 四 |
| | | | | | 金 | 香 | 香 | 歩 | 五 |
| | | | | | 香 | | ス | | 六 |
| | | | | 金 | 香 | | ス | ス | 七 |
| | | | | 歩 | ス | | | ス | 八 |
| | | | | 駒 | | ス | 金 | 王 | 九 |

持駒 銀歩

問題はここでの応手。

14 手目普通に進めるなら、ここは「同と上」として、以下「28 銀 18 玉 19 歩 同と 同銀 …」という手順が考えられます。「18 と」が消えることで、着手の自由度が増すので、とても自然な手順ですね。でも、正解はそうではありません。ここは解答者の心理の裏を衝く「同玉」が正解なのです。

その後も「18 と」を取りに行く誘惑を振り切らなくてははいけません。空間の狭さによる余計な苦勞を背負い込んでも、1 枚消す手間の削減の効果の方が勝るのです。

「17 と」「18 と」の 2 枚を残しても、不詰の心配はありません。36 玉型で突歩詰により詰めれば良いのです。

このためのテクニックが、邪魔になった 29 歩の消去(46 手目から 52 手目)と、「先打突歩詰」の手筋(56 手目からの「37 玉 38 歩」が先打突歩詰の準備になっている)です。

他にも 33 手目 26 銀として「38 と」ではなく先に「26 と」を取る手順等、「禁欲」条件下で手数を短縮するためのテクニックがふんだんに使われています。

本局を解図した方は、小駒図式とは思えない難解さに苦しみつつ、豊かな手順を楽しめたのではないのでしょうか。

【短評】

変寝夢さん(※無解)

適度に駒を取る手が入り、緊張感がある。
最終手見事な突歩詰でした。

占魚亭さん

突歩詰を目指すのは見当が付きましたがなかなか上手くいかず、何度も躓きました。

はなさかしろうさん(※無解)

結構がんばったつもりですがあと 2 手が縮みません。どうすれば良かったのか…解答発表が楽しみです。

※65 手の手順

▲ 2 九金 △ 4 九玉 ▲ 3 九金 △ 同と直
▲ 3 八銀 △ 同 玉 ▲ 3 七金 △ 2 八玉
▲ 3 八金 △ 2 九玉 ▲ 2 八金 △ 1 九玉
▲ 2 九金 △ 同と上 ▲ 2 八銀 △ 1 八玉
▲ 1 九歩 △ 同 と ▲ 同 銀 △ 2 九玉
▲ 1 八銀 △ 2 八玉 ▲ 2 九歩 △ 3 八玉
▲ 2 七銀 △ 3 七玉 ▲ 3 八歩 △ 同と引

▲ 同 銀 △ 3 六玉 ▲ 2 七銀 △ 3 七玉
▲ 3 八歩 △ 同 と ▲ 2 六銀 △ 4 八玉
▲ 3 七銀 △ 3 九玉 ▲ 2 八銀 △ 4 八玉
▲ 3 九銀 △ 4 九玉 ▲ 3 八銀 △ 4 八玉
▲ 4 九銀 △ 3 七玉 ▲ 4 八銀 △ 2 七玉
▲ 2 八歩 △ 2 六玉 ▲ 2 七歩 △ 3 六玉
▲ 3 七銀 △ 2 七玉 ▲ 2 八銀 △ 3 八玉
▲ 3 九銀 △ 3 七玉 ▲ 3 八歩 △ 2 七玉
▲ 2 八銀 △ 2 六玉 ▲ 2 七歩 △ 3 六玉
▲ 3 七歩まで

一乗谷酔象さん(※無解)

2 手縮まらず。

(参考解、非限定あり 65 手)

29 金 49 玉 39 金 同と直 38 銀 同玉
37 金 28 玉 38 金 29 玉 28 金 19 玉
29 金 同と上 28 銀 18 玉 19 歩 同と
同銀 29 玉 18 銀 28 玉 29 歩 38 玉
27 銀 37 玉 38 歩 同と寄 26 銀 36 玉
37 銀 27 玉 28 銀 18 玉 19 銀 27 玉
28 歩 26 玉 27 歩 37 玉 28 銀 36 玉
37 歩 同と 同銀 27 玉 36 銀 38 玉
27 銀 49 玉 38 銀 48 玉 49 銀 37 玉
48 銀 38 玉 39 銀 37 玉 38 歩 27 玉
28 銀 26 玉 27 歩 36 玉 37 歩(65 手)

☆本局は予想以上に難解だったため、作者以外の正解者は占魚亭氏のみになってしまいました。たった 2 手の超過だと、解図方針の誤りではなく、ちょっとした見落としだと考えてしまうので、致し方ないと思います。見事難関を突破した占魚亭氏に拍手を送りましょう。

■ 127-8 真T氏作（正解4名）

All-in-Shogi協力詰5手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | 龍 | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 王 | 五 |
| | | | | | | | 香 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

【ルール】

• All-in-Shogi

双方とも自分の駒だけでなく相手の駒を動かすこともできる。ただし、双方とも1手前の局面に戻す着手は禁手とする。

(補足)

- 1) 相手玉を動かす王手や、相手の持駒を打つ手も可。
- 2) 相手に相手の駒を取らせることはできない。
- 3) 相手の駒に自分の駒を取らせたとき、その駒は相手の持駒となる。
- 4) 自玉を取らせる手は反則

→参照：WFP122号「All-In-Shogiの紹介」

【解答】（※相手駒を動かす手をvで表す）

12 龍 13 角 35v 角 23v 龍 24v 玉 まで 5手
(詰上り)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | 龍 | | 三 |
| | | | | | | | 王 | | 四 |
| | | | | | | | 馬 | | 五 |
| | | | | | | | 香 | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

【作者のコメント】

狙いは壁駒発生。
初形で 35 がふさがってれば1手詰。とい

うわけで4手かけて実現します。

【解説】

簡素な初形から、All-In-Shogi ならではの手筋が連発される作品。

その手筋の一つが詰上り。通常のルールでは実現できない龍と香の両王手です。この両王手自体は初手にいきなり「24v 玉」としても実現可能なのですが、それは35玉と逃げられます。これに備えて4手を費やし、35を壁駒で埋めるのが本局の中心主題です。

まず龍のソッポ行きで距離を取って王手し、13角合をさせます。直後その角を35へ動かして開き王手するのが All-In-Shogi ならではの手筋です。普通詰将棋で「合駒を直後に動かす」という時、「直後」は合駒した2手後を意味するのですが、本局では字義通り「直後」です。

その後、役割を終えた龍を元の位置に戻せば、初形から35角だけが発生した形になっています。これで待望の「24v 玉」が実現します。これに対して「15玉」と戻す手はルールにより禁手。鮮やかな両王手の詰上りです。

思い返せば真T氏のデビュー作も合駒を動かして壁駒にする作品でした。

【参考】合駒を動かして壁駒にする

真T作

PWCばか詰5手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | 角 | 王 | 四 |
| | | | | | | | | 飛 | 五 |
| | | | | | | | | 王 | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒なし

(Takubon's 詰将棋,
PWCばか詰作品展,2006年11月)

28 飛 26 桂 18 飛 同桂成/26 飛 27 飛
まで5手

ルールは変わっても表現したい主題は同じ。作品には作者の好みは自然に反映されるものなのですね。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

何故か4手目が見つからなかった。
一度は詰ましたつもりだったが。
ちょっといろんなルールが頭の中で交錯してきたかも。
それでも初形で35に駒置くと1手詰であることは見抜かないといけませんね。

占魚亭さん

退路封鎖の角を出現させて24v玉を実現。
上手い！

はなさかしろうさん

35角、ぴったりでした。

一乗谷酔象さん

退路塞ぎのマジック。

たくぼんさん

24玉の詰上りは第一感でしたが、35を埋める手法が素晴らしい。

■ 127-9 くろねこ氏作 (正解3名)

協力自玉詰 12手

| | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|--|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 飛 | | |
| | | | 料 | 飛 | | | | | | |
| | | 龍 | | 王 | | 料 | | | | |
| | | | | 角 | 香 | | | | | |
| | | | 王 | | | | | | | |
| | | 歩 | | | | | 桂 | | | |
| | | | | | | | | | | |

持駒 飛角金銀

【解答】

88角 同龍 95飛 85桂 同飛 同龍
47桂 同桂成 65金 同龍 66銀 同龍
まで 12手

(詰上り)

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|---|---|---|--|---|---|--|--|
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | 飛 | | |
| | | | 料 | 飛 | | | | | | |
| | | | | 王 | | | | | | |
| | | | 龍 | 角 | 香 | | | | | |
| | | | 王 | | 手 | | | | | |
| | | | 歩 | | | | 桂 | | | |
| | | | | | | | | | | |

持駒 なし

【作者のコメント】

飛角→桂への不利交換です。
これは過去に一杯ありそうですが比較的コンパクトに纏まったかと思っております。

【解説】

飛と角、重要そうな大駒2枚を桂1枚と交換する冒頭6手が鮮烈。

桂の利きは飛にも角にも包含されないので、純粋な「不利交換」ではありませんが、高額紙幣を少額の硬貨と交換するくらいの駒損に感じますね。

攻方玉の周囲を見ると、5筋への脱出阻止が必須ですが、受方66桂で58を塞ぐと66からの王手ができません。持駒に桂があれば47桂に同桂成とするだけで退路を塞ぐことができます。この局面に限っては飛角より桂の方が重要なのです。

持駒変換の機構では八段目に桂が打てないことを利用しています。「99角 88桂…」とはできないので、初手88角が限定されているわけです。

作者は「過去に一杯ありそう」と心配していますが、前例は記憶にありません。でも、この主題は7手の協力詰で創作可能なので、筆者が見落としているだけかもしれません。どなたか前例をご存知でしたら、ご教示願います。

【短評】

変寝夢さん (※無解)

47に成桂を作る発想が全く浮かばなかった。6手目までの流れと収束4手は大体予想できましたが。もっと余詰があっても不思議でない形だが、巧い配置だなあと感じました。

占魚亭さん

飛角を桂に変換。

一乗谷酔象さん

飛角を桂に替えて解決。

たくぼんさん

47 桂に気付けば道は開けます。
気付くのが遅くてかなり悩みましたけど。

■ 127-10 くろねこ氏作 (正解2名)

協力白玉詰 30手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 銀 | 銀 | | | | | | | | 一 |
| 金 | 王 | 飛 | | | | | | | 二 |
| | と | 金 | 金 | 桂 | | | | | 三 |
| 王 | | | | | | | | | 四 |
| | | と | | | 銀 | | | | 五 |
| | 角 | 桂 | と | | | | | 飛 | 六 |
| | 歩 | | 桂 | 金 | | | | | 七 |
| | | 銀 | 桂 | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【解答】

14 飛 24 香 同飛 34 香 同飛 44 香
同飛 54 香 同飛 64 角 85 と 同玉
55 飛 同角 75 と 94 玉 99 香 同角成
98 香 同馬 97 香 同馬 96 香 同馬
85 と 同馬 84 と 同馬 93 金 同馬
まで 30 手

(詰上り)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 銀 | 銀 | | | | | | | | 一 |
| | 王 | 飛 | | | | | | | 二 |
| 王 | | 金 | 金 | 桂 | | | | | 三 |
| 王 | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 銀 | | | | | 五 |
| | 角 | 桂 | | | | | | | 六 |
| | 歩 | | 桂 | 金 | | | | | 七 |
| | | 銀 | 桂 | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

【作者のコメント】

香 4 連合→4 香連打です。
香車は全て 2 間以上空ける事に拘った結果、

玉の可動域を 3 か所に設定する事になりました。
去年の自作での経験が生きた感じ(斜め移動制限と角金桂による檻は相性が良いです)
前例がありそうなのが怖い所です。

【解説】

初手下手に王手を掛けると受方玉が詰んでしまう初形。「85 と 同玉 75 と 94 玉…」としても意味なさそうなので、初手は 14 飛の一手。
最近 WFP 作品展では連続合を主題とした作品が多いので、「連合」への期待が高まりますね。

しかし、受方持駒を見ると「角香 4 歩 14」。七連合ではなさそうですし、金銀がないので使い方に困りそうです。

ここで 77・88・99 の空間に注目。「この斜めの筋に沿って角を通せば 99 馬を作れる！」と閃けば、解決への道筋が見えてきます。そう、4 香連合の後、角合を発生させ、これを 55 に移動させた後。4 香連打で馬にして引き戻し、一気に白玉を詰めてしまいます。

主題の 4 香連合・4 香連打以外に夾雑物はほとんどなく一気呵成に詰め上げるので、とても爽快な一局だったと思います。

作者は前例を気にされていますが、4 香連合・4 香連打は協力白玉詰では初めてだと思います。敢えて近い例を挙げるとすれば「第 51 回神無一族の氾濫」④神無三郎作が記憶に新しいところです。

【参考】「第 51 回神無一族の氾濫」④

神無三郎作

協力白玉詰 42手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 王 | | | | | | | | | 一 |
| | 皇 | | | | | | | | 二 |
| | | 皇 | | | | 銀 | 銀 | | 三 |
| | | | 皇 | 桂 | 金 | 金 | 金 | 金 | 四 |
| | | | | 皇 | 歩 | 銀 | 銀 | 銀 | 五 |
| 龍 | | | と | | 王 | | 王 | 王 | 六 |
| | | | 歩 | 桂 | | | | | 七 |
| | | | 銀 | 歩 | | | 王 | | 八 |
| | | | | 桂 | | | 桂 | | 九 |

持駒 なし

45 と 86 香 同龍 76 香 同龍 66 香
同龍 56 香 37 歩 同馬 46 と 同馬
37 歩 同馬 56 龍 46 馬 45 龍 同馬
39 香 38 飛 同香 同馬 16 飛 同馬
39 香 38 飛 同香 同馬 16 飛 同馬

39 香 38 飛 同香 同馬 16 飛 同馬
 39 香 38 飛 同香 同馬 16 飛 同飛
 まで 42 手

これも4香を連合し、全部捨てる協力自玉詰ですが、合駒は「移動合」ですし、香も「連捨」ではないので、くろねこ氏の作品とは印象が異なります。未見の方は本局と神無三郎氏作の両方を鑑賞すると、より楽しめると思います。

【短評】

占魚亭さん

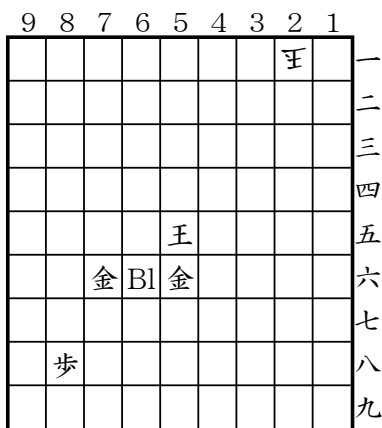
4連続香合に4連続香打。
 シンプルで面白かったです。

たくぼんさん

これは面白い。44角～99角成～93同馬まで見事なストーリー。さすがくろねこさんです。

■ 127-11 変寝夢氏作 (正解3名)

協力自玉詰 20手



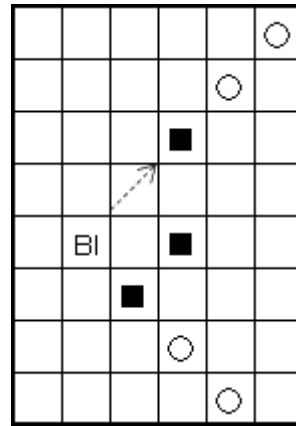
攻方持駒 桂
 受方持駒 なし

※Bl:Bishop-Lion

【ルール】

• Bishop-Lion (Bl)

角の利きの方向にある駒を1つ跳び越えその先の任意のマスに着地する。着地点に敵駒があれば取れる。フェアリーチェスのLionの利きを斜めに制限したもの。

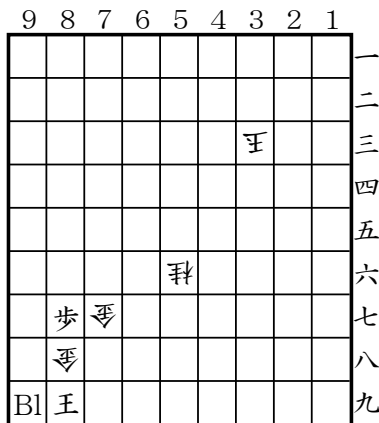


(○がBlの利き。
 ■は敵または味方の駒。○の地点が埋まっていると、その先には跳べない。)

【解答】

33 桂 22 玉 65 王 33 玉 99Bl 44 桂
 87 歩 56 桂 66 王 55 金 67 王 65 金
 77 王 66 金 78 王 76 金 88 王 77 金
 89 王 88 金打 まで 20 手

(詰上り)



持駒 なし

【作者のコメント】

攻方はなるべく玉を、玉方はそれ以外を動かすことを考えてみた。

【解説】

127-2 で参考図として紹介しましたが、作者はWFP65-9でLionの利きの線上を進む桂鋸を見せてくれました。この作品では、更に複雑な鋸引を見せてくれます。

WFP65-9ではLionと玉の間の駒の枚数を「0」と「1」にすることで鋸引を実現していました。「1」で王手、「0」で王手解除というわけです。

しかし王手解除の方法はそれだけではありません。Lionは駒を1枚しか跳び越えられないので、「2」でも王手解除は可能です。

本局はこの性質をうまく利用し、Bishop-Lion (Bl) の利きの線上で駒の枚数を 0～2 の範囲で調節して、ミニ玉鋸とミニ金鋸の二重鋸を実

現しています。

同一軌道上の異種駒はまだ作例の少ない未開拓な分野ですが、それがこんなに簡単な原理で実現できるというのは面白い発見です。

本局では鋸引、特に金鋸は最小限に設定されていて、それまでに舞台を整える手順が多彩で充実しています。BI自体の移動や歩を動かす開き王手は特に印象的です。玉が終始不動だった **WFP65-9** とは好対照です。

なお、全体の構図を1筋分右にずらせば、BIの代わりに **Lion** でも同じ手順が実現できます。狙いが見えないと難しい作品ですが、**Lion** ではなく **BI** を使ったことで、難解さは軽減されていると思います。

【短評】

はなさかしろうさん

一直線に手がつながっていくのが楽しかったです。

たくぼんさん

87歩がなかなか見えなかったですね。中央でフィニッシュする順を考えてました。

■ 127-12 青木裕一氏作（正解5名）

禁欲協力詰 9手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | 飛 | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | 糸 | | | | 四 |
| | | | | | | | 鋸 | | 五 |
| | | | 皇 | 王 | | | | | 六 |
| | | | | 飛 | | 歩 | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | 鋸 | | | | 九 |

持駒なし

【解答】

51 飛生 54 香 同飛生 46 玉 47 香 同玉
57 飛 46 玉 47 飛打 まで 9手

(詰上り)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | 糸 | | | 四 |
| | | | | | | | 鋸 | | 五 |
| | | | 皇 | 王 | | | | | 六 |
| | | | | 飛 | 飛 | 歩 | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | 鋸 | | | 九 |

持駒なし

【作者のコメント】

攻方飛を成れないようにするために4段目以下に動かす狙いです。成れなくすることで、玉が47に来たときに飛が取れます。

飛を移動させる過程で手に入れた合駒は邪魔駒になるようにしました。他の合駒だと上手く消せないの香限定です。

【解説】

禁欲ルールで駒を取るにはどうするか？

本局は「駒の利きを弱くする」ことでそれを実現しています。

もちろん直接的に駒の利きを弱くすることはできません。駒が成る可能性を消すという手段で潜在的な能力を削るのです。

成れるのに成らない初手飛生はその主題の予告編。主役は2手目54香の限定合です。

これは飛を成れない場所に移動させることで、飛が龍に成る可能性を消すのが狙いです。

合駒の位置は五段目ではだめです。作意同様に進んだとき、7手目45飛という駒を取らない手が可能になるからです。四段目に移動させることで、「十字飛車」にさせるわけですね。

合駒の種類はもちろん香限定。

禁欲ルールなので合駒を処分しないと取りたい駒(57飛)を取れませんが、香合以外だと持駒を処分しようとしても45玉という駒を取らない手が残ってしまいます。

後で駒を取れるよう敢えて最強の駒を渡す。これも禁欲ルールの面白いところ。この手筋は様々な応用ができそうですね。

手順の流れを見直しましょう。2手目に直接47玉と逃げた場合と、作意6手目を比べると飛が51に居るか54に居るかという違いだけ。得た香合を捨てることで、局面の相違を最小化し、

「成れる飛を成れない飛に変換する」という本局の主題を明確に表現しています。こうした構成法はぜひ見習いたいものですね。

【短評】

変寝夢さん（※無解）

歩合はだめなのか。

そもそも47に駒を打つ発想がなかったが。

占魚亭さん

成るのは強すぎる、香以外だと45に逃げる手がある。

はなさかしろうさん

成れなくしてから綺麗に消える香。

一乗谷酔象さん

飛が持駒なら54から打って5手詰。

香の限定合と強制取らせが巧い。

たくぼんさん

54の地点がこの1点。

禁欲上の攻防が見事です。

【総評】

変寝夢さん

6, 8, 9, 12は解きたかったなあ。

たくぼんさん

Q王は手ごわいですね。手が広すぎて3ヶ月でもダメでした。新たな苦手出現です。

☆今回の作品展はとても充実した内容でしたが、解答者からは苦戦のコメントが寄せられました。次回は少し難度が下がるので、解答者数が回復することを祈っています。

☆今年は例年より早く花粉の飛散が始まりました。飛散量も昨年より多いと予想されていて少し憂鬱です。集中力や注意力を維持するのは難しいのですが、担当業務に支障が出ないよう、何とかこの数ヶ月をやり過ごそうと思います。

以上

Fairy of the Forest #65 解答発表

■ 2020年10月20日：課題発表：(協力詰)

「自由課題」

- 2020年12月15日：投稿締切
- 2021年01月15日：投稿再締切
- 2021年01月20日：出題
- 2021年02月15日：解答締切
- 2021年02月20日：結果発表

■ 結果発表

【今回の解答者】(敬称略、到着順)
(○は全題正解者)

○神無七郎、変寝夢、○占魚亭、○たくぼん、

変寝夢ー今年もよろしくお願ひします。

☆新型コロナが猛威を振るった旧年でしたが、新年はどうなるのでしょうか。ともあれ、本年もよろしくお願ひします。

■ 65-01 たくぼん

協力詰 5手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | 銀 | | | | | | | |
| 三 | | | | | 王 | | | | | |
| 四 | | | | 歩 | | 銀 | | | | |
| 五 | | 角 | 角 | 飛 | | | | | | |
| 六 | | | 玉 | | | | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒なし

53歩生 42玉 52歩生 41玉 51歩成 まで5手

(詰上り図)

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | と | 王 | | | | |
| 二 | | | | 銀 | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | 銀 | | | |
| 五 | | | 角 | 角 | 飛 | | | | | |
| 六 | | | | 玉 | | | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒なし

占魚亭ー連続歩不成。客寄せにぴったりの作品ですね。

☆攻方が強力なので、66王・62飛の配置はやむを得ませんが、さらに34銀は、初手45飛や53角成・42角成以下の種々の余詰を防止しています。これが34歩だと3手詰。

変寝夢ー歩の軌跡が「1」ですね。

☆54歩が真っ直ぐ進んで詰み。解くのは簡単ですが、作るとなると割と苦労しそうです。

神無七郎ー1枚の歩で連続歩生という作品は協力詰でも結構ありますが、直後に成るのは初めて？(直後でなければ私も作ったことがあります。)最悪詰なら1枚の歩で「生・生・成」を連続で行った前例があります。

[参考] 1枚の歩で連続「生・生・成」

北村太路/Takubon's 詰将棋/2007年5月15日/第1回最悪詰作品展

最悪詰 5手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | 皇 | | 王 | | |
| 四 | | | | | | 角 | 歩 | | | |
| 五 | | | | | | | 香 | 歩 | | |
| 六 | | | | 銀 | 角 | 玉 | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | | | | | | | | | |
| 九 | | | | | | | | | | |

持駒なし

23歩生 12玉 22歩生 11玉 21歩成 まで 5手

神無七郎一同様のテーマを受方の歩でやるのも面白そうですね。この場合、最短は7手でしよ
うか。

☆どなたかチャレンジしてみませんか？

■ 65-02 小林看空

協力詰 23手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 銀 | 香 | | | | | | | | 一 |
| 角 | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | 歩 | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | 王 | | 玉 | 九 |

持駒 なし

28角生 48玉 37角 57玉 46角 66玉
55角 75玉 64角 74玉 73角成 65玉
55馬 74玉 64馬 83玉 72銀生 同玉
73馬 81玉 91香成 71玉 82角
まで 23手

(詰上り図)

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 香 | | 王 | 歩 | | | | | | 一 |
| | 角 | | | | | | | | 二 |
| 歩 | | 馬 | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | 歩 | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | 玉 | 九 |

持駒 なし

神無七郎ーいきなり成れる状況で成らず、後で成る…「成の保留」が狙いでしょうか？
すんなり解けたので、狙いがよく分かりませ

んでした。

☆玉を左上へ追い上げるのは見えていますが、
初手 28角成以下、馬で追い上げると、9手
目 64馬のとき、応手に困ってしまいま
す。85玉 だと王手が続かなくなるし (91
角の利きに注 意)、66玉でも同様です。と
なると初手角生 は明らかですが、不成の
方が自然ですから不 利感はありません。

変寝夢ーこちらは先手の着手位置の軌跡が斜め
の1ですね。

☆91角がピンしていますから、この動きは必
然です。

たくぼんー12手目同玉と取って試行錯誤して
しまいました。一旦戻るのがポイントでした
か。

☆12手目同玉だと、ここから最短でも 15手か
かるようです。

占魚亭ー堅実に下段へ落とす。

☆55馬と一旦戻ってから 64馬とすれば、83
玉と落とすことができ、以下銀・香を活用して
詰み上がります。

■ 65-03 たくぼん 協力詰 53手

協力詰 53手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| 角 | 角 | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 金 | 金 | 金 | 金 | 金 | 五 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 六 |
| ス | | | | | | 飛 | | | 七 |
| | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 八 |
| ス | | | | | | | 王 | | 九 |

持駒 なし

39飛 18玉 19飛 27玉 17飛 38玉
37飛 49玉 39飛 58玉 59飛 67玉
57飛 78玉 77飛 89玉 79飛 98玉
99飛 87玉 97飛 78玉 77飛 69玉
79飛 58玉 59飛 47玉 57飛 38玉
37飛 29玉※
39飛 18玉 19歩 A 17玉 18歩 B 27玉

37 飛 18 玉
 19 歩 C 同玉 17 飛 18 香 D 同飛 29 玉
 28 飛 19 玉 29 飛 18 玉 19 歩 17 玉
 18 香 まで 53 手

(詰上り図)

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| 角 | 角 | | | | | | | | | 四 |
| 銀 | 銀 | 銀 | 銀 | 金 | 金 | 金 | 金 | 遊 | | 五 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 六 |
| | | | | | | | | | 王 | 七 |
| | 歩 | | 歩 | | 歩 | | | | 香 | 八 |
| | | | | | | | 飛 | 歩 | | 九 |

持駒 なし

神無七郎ー32 手掛けて 2 歩を入手し、元の位置に帰還。

☆39 飛から手なりに玉を追っていきます。9 筋で 2 枚の歩を入手できますが、26~96 には攻方歩が配置されているので、歩は 1 筋にしか使い道がないようです。そこで、もと来た経路を辿って、また 37 飛・29 玉※の形に逆戻りします。

占魚亭ー歩の使い方がちょっとしたポイント。

☆初形に逆戻りした(持駒=歩 2) 所から、39 飛、18 玉に、19 歩 A~18 歩 B と打った歩を活用し、37 飛・18 玉の形を作るのが打開策。残りの歩を 19 歩 C と打ち、17 飛に 18 香 D と合駒をさせれば収束が見えてきます。同飛で香を入手し、さらに 28 歩も入手して、入手した駒を 19 歩~18 香と連打すれば終局です。

変寝夢ー61 手から縮まりませんでした。28 の歩を取るのには絶対ないだろうと思っていました。

☆31 手目 39 歩と打ち、同玉、59 飛、38 玉、39 飛、27 玉、37 飛、18 玉、19 歩、同玉、39 飛、29 歩成、同飛……と進めれば 61 手で詰むようですが…。でも、39 歩は二歩禁なんですね。

神無七郎ーいろいろ細工できそうな素材ですが素直な仕上げだと思えます。

☆これくらいが程よいのかも知れませんね。

【総評】

神無七郎ー今回は正月モードの頭でも解きやすい作品展でした。同じ号の「アンチキルケばか詰作品展」や WFP 作品展では難度の高い作品も出題されているので、時期的にはちょうど良かったと思います。

☆ちょっと寂しい感じもしたのですが…。

たくぼんー易しい 3 題で解答が増えればいいのですが。

☆残念ながら、増えませんでした。

Fairy of the Forest #66 課題発表

■ 2021 年 02 月 20 日：課題発表：(協力詰)

「自由課題」

- 2021 年 04 月 15 日：投稿締切
- 2021 年 04 月 20 日：出題
- 2021 年 05 月 15 日：解答締切
- 2021 年 05 月 20 日：結果発表

■ 課題発表

普通なら解答選手権の時期なのですが、今年も中止(オンライン開催のみ)。色々大変な状況ですが、ポチポチとでもやっていくしかありませんね。ご投稿をお待ちしています。

(投稿先)
 →酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

150号記念企画復活！

第12回アンチキルケばか詰作品展

第12回アンチキルケばか詰作品展、解答者は私を除いて6名でした。中・長編作が多かったので解答者は苦勞されたようですね。全題正解者は橋本孝治さんと占魚亭さんの2名でしたがこれは素晴らしい成績だと思います。

〔作品展成績〕(敬称略)

○：正解 -：無解：赤字：お気に入り投票

| 解答者名 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 計 |
|------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|----|----|----|----|----|
| 橋本孝治 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 占魚亭 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 14 |
| 上谷直希 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | - | - | 9 |
| 青木裕一 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | ○ | - | - | - | - | - | ○ | - | 8 |
| 変寝夢 | ○ | ○ | ○ | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | - | - | 4 |
| 神在月生 | ○ | - | - | - | - | ○ | - | - | - | - | - | - | - | - | 2 |
| 投票数 | 1 | | | 2 | | | 1 | | 2 | | | | | 2 | |

1番 上谷直希作

アンチキルケばか詰3手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | 馬 | | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | | | | 龍 | | | | | | |
| 八 | | ス | | | | | | | | |
| 九 | | 王 | 歩 | | | | | | | |

持駒なし

51 龍 69 玉 58 龍 迄 3手

★幕開けはWEB通信講座の第1回でアンチキルケ講座を開催して頂きこの作品展をPRしてくれた上谷さんの3手詰です。本当にフェアリー普及に力を裂いて頂いており感謝に堪えません。上谷さんの作品は必ずはつきりとした狙いを持っており本作もしかり。アンチキルケは駒を取ると初形位置に戻るというルールですが、

受方玉で言えば、51の地点に攻方の駒の利きがあれば受方玉は駒を取って51へ戻ることが出来ません。では51に駒が存在すれば駒を取っても戻らなくても良いという違いがあります。本作の初形は51地点に24馬と57龍の2つの駒が利いており、龍を捨てようとしても(68龍、同玉/51玉の順)24馬の利きが残るため取ることが出来ません。後手玉を詰みやすそうな69玉とさせるにはどうすればいいかと言うのが本作のテーマ。受方玉に69歩を取らせて51玉と復活させないようにするにはどうすれば...それが初手51龍の限定移動です。51地点が龍で埋まっているので69玉と歩を取ってもその地点に留まる事ができます。しかし3手目今度は51地点が埋まっていると68馬のような王手を同玉と取られてしまうためダメ。ということで一度51へ動いた龍を58に引いて詰上りとなります。58同玉/51玉は24馬の利きがあるため出来ませんね。唯一の全員正解で、わずか3手ですがアンチキルケ愛の溢れた1作でした。

詰上図

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | | | | | | | | | |
| 二 | | | | | | | | | | |
| 三 | | | | | | | | | | |
| 四 | | | | | | | | 馬 | | |
| 五 | | | | | | | | | | |
| 六 | | | | | | | | | | |
| 七 | | | | | | | | | | |
| 八 | | ス | | | 龍 | | | | | |
| 九 | | | | 王 | | | | | | |

持駒なし

作者

龍の大移動。初手の51龍は69玉の駒取りを実現するため。しかし3手目に68馬とすると同玉と取られて困るため、今度は51地点を空けつつ王手する必要がある。

橋本孝治

玉座はアンチキルケの最重要地点。取らせたいときは塞ぎ、取られたくない時は空ける。これを龍の大移動に繋げるのが良い着想です。

変寝夢

51龍に気がつき苦笑。88との意味も面白い

★ちなみに 88 とを飛に替えると 52 龍、68 飛(成)、同馬/88 馬なんて詰み筋が生じます。

占魚亭

58 竜のタイミングを計る。

青木裕一

客寄せのちょうどいい小品。

神在月生

龍じゃなく 不動の馬が 止め駒

★大切なのは 24 馬でした。

2 番 真 T 作

アンチキルケばか詰 5 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | 皇 | 二 |
| | | | | | | ス | | 王 | 三 |
| | | | | | | | | 糸 | 四 |
| | | | | | | | 飛 | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛角

35 角 24 と 53 飛 35 と/33 と 22 飛成 迄 5 手

詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | 龍 | 皇 | 二 |
| | | | 飛 | | | ス | | 王 | 三 |
| | | | | | | | | 糸 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

作者

狙いは 35 角の限定打。合駒(移動合)に取られるためです。

★続いて登場は、過去の作品展でも好作を発表されていた真 T さん。今は最悪詰で好作連発されています。余談ですが詰パラ 12 月号の神無一族の氾濫⑥は驚愕の 1 作でしたね。この世の物とは思えない超傑作。次号の解答発表が楽しみです。

★本作は形から玉を復活させずに詰上げそうですので 51 へ利かしながら攻める必要があります。24 角か 21 飛かと考えればこれがなかなか上手くいきません。巧みなのは 33 と配置。33 とが無ければ 53 飛という手があります。以下 33 歩、22 (23) 飛成と言ったような手で詰みます。ではその筋を狙って初手 24 角と打てば良さそうですが 33 の駒がと金のため同とと取った手の復活位置が 23 の地点となるため 53 飛が王手になりません。と金以外の駒だったらこの筋が詰むのですからなかなかやっかいです。ではどうすればいいかと考えれば初手に 35~79 に角を打ち 24 とと移動合すれば 53 飛が打てそうです。しかしここで 33 合としても 24 とが飛や角を邪魔して止めが刺せません。そう解決方法は初手 35 角の限定打です。35 角ならば 53 飛に対する 33 合を「35 と/33 と」と角を取ることで 33 へ戻ることが出来るわけです。それにより飛筋が通り 22 飛成と止めを刺すことができました。初手 24 角には 2 筋の復活で詰みを防ぎ、移動合から限定打の角を取り 33 復活する 33 との存在感が光る一作でした。

橋本孝治

初手、取られるための限定打が強烈。最終手は 23 飛成に誘われました。危ない危ない。

★23 龍は有名な北村手筋ですね、と金以外では取った駒が初形位置に復活してしまうため詰みますがと金だけは 23 とが復活位置ですのでダメでした。

変寝夢

いろんな所に角を打ってしまった。2 筋でと金に駒を取らせないようにしないとイケなかったんですね

占魚亭

4 手かけて飛車を設置。なるほど。

上谷直希

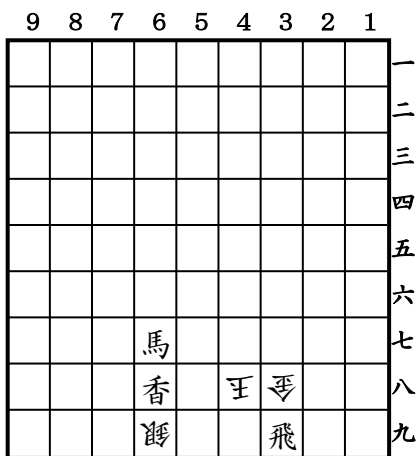
取ってもらうための短打は新鮮な印象。

青木裕一

4 手かけて 51 に利く駒を配置。意外と悩んだ。

3番 真T作

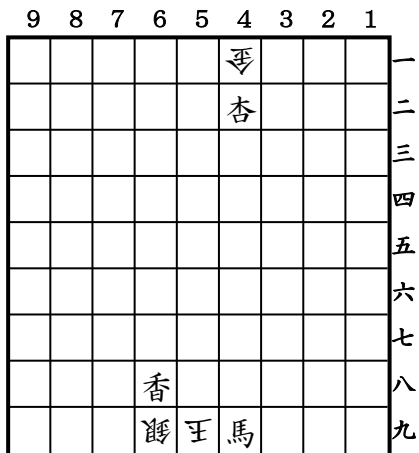
アンチキルケばか詰5手



持駒 香

49香 59玉 42香成 39金/41金 49馬
迄 5手

詰上図



持駒 なし

作者

狙いは42香成。41を空けつつ、51へ利かします。

★続いて真Tさん。形から初手49香、59玉から香を動かすまでは一目です。さてどこへ動かしましょうか？51への影響を考えれば41香成か42香成ですね。では41に成ってみましょう。この時39金と飛を取ると41が埋まっているので金は復活できません。となると49馬としても同金とされてしまい詰みません。というわけで51に利かしながら41の地点を空ける42香成が一石二鳥の好手でした。ちなみに68の駒は何故香なのでしょう

うか？ちょっと気になりましたので調べてみると、68歩では余詰むんです。

49馬 57玉 59香 66玉 76馬 迄

受方68歩にしても同様です。

橋本孝治

調子に乗って最遠移動は厳禁。

変寝夢

ライダーの移動位置の選択理由が1番と対称的に感じた

占魚亭

鮮やかな限定移動。

上谷直希

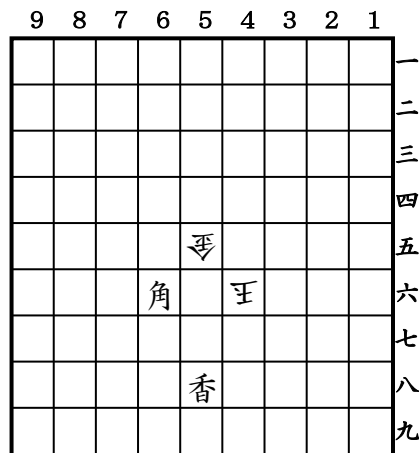
金の復活地点を開けるため、一つ控えた遠移動を。

青木裕一

41香成では詰まないようにする仕組みが上手い。

4番 馬屋原剛作

アンチキルケばか詰7手



持駒 なし

57角 56玉 46角 66玉 55角/88角 65玉
75金 迄 7手

★続いては普通詰将棋が主戦場の馬屋原さんです。過去に協力詰での登場はあったと思いますが他のルールは初登場だと思います。

★本作はアンチキルケの特徴でもある非対称性をテーマにした作品です。初手55角は駒取りお為88に復活して王手になりませんので57角の1手です。37玉は金が取れそうにありませんのでダメそうですから56玉。(途中図)

途中図

3手目の局面

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 香 | | | | | 五 |
| | | | | 王 | | | | | 六 |
| | | | | 角 | | | | | 七 |
| | | | | 香 | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

★この局面は左右対称ですが、さてどちらへというのがポイントです。角と香だけでは詰みませんので何か駒を取る必要がありますが、香で取ると1,9筋の復活してしまうので角で取って88へ復活で王手をするようにします。という訳で玉を66に呼ばないといけないのです。詰上りも角が香の右側の詰上りは良く見えますが逆なので意外と見え難かったと思います。私だったら3手目の局面からスタートしたかなと思いますが、好みですかね。

★お気に入り投票を2つ獲得して同率1位となりました。

詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | 金 | 王 | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | 角 | | 香 | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

作者

初形と4手目が左右対称になります。上谷さんがキルケで初形と途中図が左右対称になる作品を創っていたので、アンチキルケでも試してみました。

橋本孝治

4手掛けて左右反転。アンチキルケが左右非対称ルールなのが良く分かる作品です。2手進めた局面から始めれば年賀詰にも使えた？

変寝夢

6手目が一番見えにくかった。アンチキルケの非対称性を軽く表現していますね

占魚亭

金を得るため角と玉の位置交換。上手い！

上谷直希

途中に左右対称の局面が出現する。左右非対称なルールならではの狙い。

青木裕一

4手かけて左右反転という手順をシンプルな配置で成立させていて上手い。

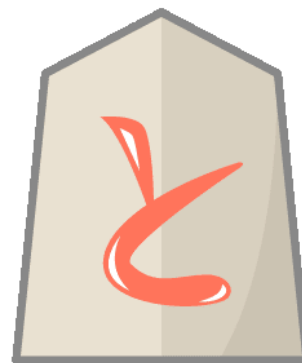
5番 上谷直希作

アンチキルケばか詰9手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 龍 | | 入 | 香 | | 五 |
| | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | | 香 | 龍 | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛角

46 飛 26 と 61 角 43 龍 同飛成/28 龍 25 と 56 飛 26 馬 17 龍 まで 9 手



詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 角 | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | ス | 王 | 五 |
| | | | 飛 | | | | 金 | 王 | 六 |
| | | | | | | | 糸 | 龍 | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

作者

(狙い)

- ・ 同じライン (6 段目) で複数回の限定打
- ・ 61 角の最速打 (52 角との比較。これはオマケ)
- ・ 受方全着手合駒 (これもオマケ)

大駒成駒をつくるための限定打が発想のもとです。初手 36 飛～34 龍移動合でも作意順と同様に見えますが、5 手目に成を選べなくなります。裏をかくような飛、龍の動かし方にユーモアを感じて貰えれば幸い。

創作の観点で完成までの経緯を簡単にまとめると、この狙いで作品をつくらうと思うと 5 手目が駒取りになるのは必然なので、どうせならこの取った駒でもう 1 回限定打を出そう→どうせなら初手と同じようなラインで表現すれば相乗効果があるのでは？という順で発想を膨らませました。当たり前ですが、色々な構図、色々な駒の組み合わせを考えて最終的にこの図に落ち着きました。苦労が報われたのか、"苦労していないような完成度の高そうな構図"に出会えて良かったです。この図ならお気に入りと言ってもバチは当たらないでしょうか。構図がこじんまりしているせいでやや地味な印象を与えてしまうかもしれませんが……。盤上の龍が余詰防ぎにも働いてくれたのは幸運でした。盤上の駒の役割を探するための余詰探しは楽しいものです。

★作者がほとんど解説して頂いているので私は解図した感想などを書いていきます。本作は難解です。初形からパッと見、筋が全く見えません。見えるとすれば 56 飛、26 馬、17〇

打という手ですが手持ちは角ですので他の駒への変換が必要です。駒を取ろうとしてもなかなか手に入れ難いのです。という訳で 26 とさせて角を打ち合駒を飛で取り 28 へ復活する開き王手という方法がありました。これで一步前進です。しかし初手は多分 100 人いれば大多数は 56 飛と打つでしょう。51 へ利きを作り当然と思えます。

変寝夢さんも書かれています、56 飛、26 と、61 角、52 金、同飛成/28 龍、25 とがいい線です。しかし 17 馬の存在で詰みません。17 馬を 26 へ移動させる順が必要です。ということで飛がいるんですね。しかし 45 龍がいるので飛合が出来ません。という訳で正解は初手 46 飛で以下上と同様の順で 43 龍の移動合とするわけです。作者解説でも書かれています初手 36 飛は龍を取る位置が 34 になって成事が出来ずに最終手が出来ません。受方が全ての手が移動合というのも凄いいし、角の打ち場所も 61 の最遠地点 (52 角だと最終手に対し 51 に利きが無いので同玉/51 玉が成立) と文句なしの好作だと思います。正解者 2 名だった為かお気に入りの投票がありませんでしたが私は 1 票です。(今回は投票権なしですが)

橋本孝治

これは少し難しかったです。飛角の焦点に合駒をさせ、それを素抜く筋だということは分かっていますが、それが移動合だと目星を付けるまで時間が掛かりました。

変寝夢

5 6 飛、2 6 と、6 1 角、5 2 合、同飛成/2 8 龍の筋で沈没。ある程度想定した流れだったので解けなくて残念

占魚亭

巧妙なピンメイト。3 手目の限定打もいいですね。



6番 変寝夢作

アンチキルケばか詰 9手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | 王 | 一 |
| | | | | | | | 科 | 香 | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | 香 | 角 | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | 馬 | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 金香4

21金 同銀/31銀 13香 同金/41金
14香 同桂/21桂 12香 同角生/22角 12香
迄 9手

詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | 香 | 科 | 科 | 王 | 一 |
| | | | | | | 馬 | 香 | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | 角 | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

作者

アンチキルケ協力は作りにくかったです。先手で復活を行うと、必ず持駒が増えるのがどうも、ですね。ただこのルールはうまくやると簡単に再帰的な長手順が発生するのでポテンシャルはあると思います。

★ 続いては多様なルールで活躍中の変寝夢さん。オーソドックスなルールは珍しいですね。ちなみに読み方はペンネームさんとお読みするのですが気付かれない方もいらっしゃるようです。

★ 本作はパッと見難しい？と感じるかもしれ

ませんが筋に気付けば作者の狙いが分かると思います。私も大昔に7種復活という作品を発表したことがあります。同様の感想を貰いました。自作の手順は機械的になりすぎてしまいましたが本作は優しさに溢れていて好感が持てる手順です。初手金捨て以降は香の4連打で詰上げます。感心したのは15角配置。51へ利かしているわけですが、たとえば52歩配置にすると5手目より13香、12金、同香生/19香、12合、21金と言った筋で余詰みます。19香復活して王手にならないよう15に角を配置しているわけです。

橋本孝治

連続捨駒で駒を所定の位置に戻す。香4連打だけにする選択もあったと思いますが、形式に拘泥せず金の捨駒を加えたのは良い判断だったと思います。

占魚亭

退路を塞ぐための手続き。アンチキルケらしき全開。

上谷直希

複雑そうだと身構えたが大丈夫だった。香捨ての地点がそれぞれ異なっているのがちょっとしたポイントか。

青木裕一

4枚の駒を初期配置に戻すミニ趣向。

神在月生

配置位置 四つ戻るも 玉はだめ

7番 神無太郎作

アンチキルケばか詰 23手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | 科 | 科 | 香 | 王 | 香 | 科 | 科 | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | 香 | 香 | 香 | | | 香 | 香 | 香 | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩6

52歩打 42玉 43歩 52玉/51王 42歩成 62玉
52と 72玉 62と 82玉 72と 93玉

94歩 84玉 85歩 75玉 76歩 66玉
67歩 76玉/51玉 61と 42玉 43金
迄 23手

詰上図

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | 科 | 爵 | と | | 香 | 爵 | 科 | | 一 |
| | | | | | | | | | | | | | | | 王 | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | | 歩 | 歩 | 歩 | | 金 | 歩 | 歩 | 歩 | 三 |
| | | | | | | | | | | 歩 | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | | 歩 | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | | | | 歩 | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

★ 続いては太郎さんの実戦初形型作品です。アンチキルケと言えは駒取りをしたら実戦初形の位置に戻るのが特徴ですが、初めから実戦初形の位置にいる訳ですから逆の意味で異様な配置と言えるでしょう。歩打を取ると51へ戻ってしまいますので意外と手は限られています。ただ23手というのが曲者でまさかの上部追い出しが正解となります。72とを配置した状態で玉を復活させて61とと金を取るわけです。七郎さんの短評にあります、3段目迄で詰まそうとすると27手かかります。

(玉移動2段目までの順の例)

52歩 42玉 43歩 52玉/51玉 42歩成 62玉
52と 72玉 62と 82玉 72と 92玉 93歩 91玉
82と 同玉/51玉 52歩 42玉 43歩 52玉
/51玉 42歩成 62玉 52と 72玉 62と 82玉
92歩成 迄 27手 (歩余り)

(王移動3段目までの順)

52歩 42玉 43歩 52玉/51玉 42歩成 62玉
52と 72玉 62と 82玉 72と 92玉 82と 同
銀/71銀 93歩 82玉 92歩成 72玉 82と 62
玉 72と 52玉 62と 43玉 44歩 42玉 43歩
成 迄 27手 (歩2余り)

特に下の手順は持駒歩4で唯一解になります。勿論太郎さんも考えられたこととは思いますが、こちらの順も銀の居食いで方向転換している面

白い手順ですがちょっと淡白な所が選ばれなかった理由でしょうか。ところで上部に追い出すときに94歩を同玉/51玉としたら早く詰むんじゃないのと思われる方いませんか？収束の61とと金を取るときにと金の初形位置の67地点が埋まっていないと61と/67とと戻され玉手にならないんですね。というわけで67歩打まで追い出してから収束しないといけません。

橋本孝治

最初は玉が二段目までしか動かない27手の筋を読みました。玉が外に出て67を塞ぐのが狙いというのは少し意外。いかにも非限定が生じそうなので、本能的にこの種の展開は避けてしまいます。本局は斜めの歩の階段で非限定をうまく避けていますね。

変寝夢

61ととするための準備が周到。

占魚亭

金を取っても戻らないよう細工する後半がポイント。

上谷直希

と金だけの詰め上がりをすぐ諦められるかどうか。何もないところへ向かう手順には驚かされる。

8番 真T作

アンチキルケばか詰49手

持駒 なし

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | | | | | | 馬 | 爵 | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 皇 | 三 |
| | | | | | | | | | | 歩 | | | | | | | 歩 | | 四 |
| | | | | | | | | | | 飛 | | | | | | 桂 | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | と | と | | 六 |
| | | | | | | | | | | と | | | | | | | 香 | 王 | 七 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | 皇 | 八 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | 歩 | 桂 | 九 |

持駒 なし

16と 同玉 26と 17玉 16と 同玉
96飛 86歩 同と/87と 76歩 17歩 15玉
16歩 同玉 76と/77と 66歩 17歩 15玉
16歩 同玉 66と/67と 56歩 17歩 15玉
16歩 同玉 56と/57と 46歩 17歩 15玉
16歩 同玉 46と/47と 36歩 同と/37と 15玉

26と14玉 25と 同歩/23歩 15歩 同角/22角
 15歩 同玉/51王 43桂生 52玉 56飛 41玉
 52飛成 迄 49手

詰上図

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|--|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | 王 | 龍 | | | | 一 |
| | | | | 龍 | | | | 馬 | | 二 |
| | | | | | 桂 | | 歩 | 皇 | | 三 |
| 歩 | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | 香 | | | 七 |
| | | | | | | | | 皇 | | 八 |
| | | | | | | | 歩 | 桂 | | 九 |

持駒 なし

作者

1手と金鋸。持ち歩の処理が大変なので、1サイクル毎に消費するようにしました。

★ 続いて真 T さんの中編趣向作です。これまでアンチキルケでは意外と趣向作は創られていない印象がするのですが、今回の作品展ではいろいろな趣向作が登場しました。まだまだ埋もれている趣向はあるようです。新たな発掘に期待です。

★ 本作は51が埋まっていますので、復活なしの同玉が可能です。まずと金を2枚捨てて飛筋を通して趣向がスタートします。96飛に対しては歩合しかありませんが、それを同飛と取ると28へ復活しますので王手になりません。というわけで歩合をと金で取ってと金が復活することで開き王手とする訳です。この辺りはこれしかありませんが次の76歩に対して同とと取ってしまうと開き王手に対して受方の持駒がありませんので15玉か17玉とせざるを得なくなり詰みません。ですので76歩の瞬間に受方に歩を渡す17歩～16歩の順が必要となります。歩の数のバランスが素晴らしく序でと金2枚捨てる味も良いものになっています。34手目36歩と合駒されたところが一つの分岐点です。調子に乗って17歩とする必要がなく歩2枚を持って収束に向かいます。収束も25とと捨てて23歩型にして51角の筋を通

して15歩、同角/22角と51の地点を空けて玉を復活させて詰上げます。43桂生～56飛～52飛成は意外と見え難い順かもしれません。確かに解答者の多くが収束に苦労したと言われていますね。

橋本孝治

普通は2枚の飛筋の開閉で行う横向きの「と金鋸」ですが、アンチキルケを純粹に「移動手段」に使えば飛は1枚で済むんですね。足りない歩を譲渡しながら少しずつ近づくのが面白さを増しています。手数不足を心配しましたが、最後のサイクルで歩の譲渡を省略し、何とか指定手数に納まりました。

変寝夢

収束を設定に苦労したと予想します。

占魚亭

面白いと金鋸（でいいのかな？）でした。

上谷直希

と金の送り趣向。収束への導入に少し手こずった。

青木裕一

趣向手順はすぐに見えたが、収束手順を見つけるのに手間取った。

9番 青木裕一作

アンチキルケばか詰69手

持駒 なし

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| 皇 | | 飛 | 皇 | 皇 | | | | | | 二 |
| 龍 | | | 龍 | 皇 | 馬 | | | | | 三 |
| | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 桂 | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | 皇 | | | | | | | | 六 |
| | | 角 | | | | | | | | 七 |
| と | 圭 | 王 | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |
| | 王 | 香 | 入 | | | | | | | 九 |

持駒 なし

88圭 99玉 98圭 89玉 81飛成 97飛成/82龍
 88圭 99玉 92龍 93龍 98圭 89玉
 81龍 73龍/82龍 88圭 99玉 92龍 93龍
 98圭 89玉 81龍 63龍/82龍 88圭 99玉
 92龍 93龍 98圭 89玉 81龍 53龍/82龍
 88圭 99玉 92龍 93龍 98圭 89玉
 81龍 43龍/82龍 88圭 99玉 92龍 93龍

98 圭 89 玉 81 龍 33 龍/82 龍 88 圭 99 玉
 92 龍 93 龍 98 圭 89 玉 81 龍 23 龍/82 龍
 88 圭 99 玉 92 龍 93 龍 98 圭 89 玉
 81 龍 13 龍/82 龍 88 圭 99 玉 92 龍 97 桂
 同圭/89 圭 89 玉/51 王 43 桂 まで 69 手

詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 皇 | | | 王 | 王 | 王 | | | | 一 |
| 龍 | 龍 | | 銀 | 香 | 角 | | | | 二 |
| | | | | | 桂 | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | 皇 | | | | | | | 五 |
| | | 角 | | | | | | | 六 |
| | | 玉 | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | 香 | ス | | | | | | 九 |

持駒 なし

作者

通常とは逆で受方駒が攻方駒を取る連取りです。All-in-Shogi ルールでやろうとしていて考えていた趣向をアンチキルケルールでやりました。

★ 続いては普通詰将棋だけでなくフェアリーでも新たな趣向や構想作を発表されている青木さんの趣向作です。全く新しい構想の趣向でさすが青木さんと思いました。

★ 初形を見て受方玉はととても狭いように思いますが、駒を取り常に 51 へ戻る順があります。現状で 51 玉とされると王手が続かなくなります。42,52,62 歩成、61 飛成はどれも駒取りですので初形位置へ復活することになり王手になりません。13 桂を見るとなんとなくこの駒を取りに行くのかなと思いますが、何とこれは先手の駒。本作のテーマはこの駒を何とか受方に取らせて、それを合駒してもらいそれを取って攻方の駒台に乗せるというストーリーなんですね。他のルールではなかなか実現不可能な感じですがアンチキルケでは初形位置に復活することが出来るので駒を取ったら 82 に復活できる飛車を上手く利用出来ます。

5 手目 81 飛成に対して邪魔な 97 とを取って龍に成って 82 龍とする所からスタートします。93 に龍を移動させ 81 龍に対して 3 段

目の先手駒を取り 82 復活移動合というのが本作の骨子です。同様に順次 3 段目の駒を剥がして行き目的の 13 桂を取って収束です。92 龍に今度は 97 桂と合駒するのが最後の好手。桂を取るのには龍では無理ですので 88 成桂で取って開き王手をするのが唯一の方法で、同玉/51 玉とさせるには 89 か 88 しかありませんが 94 桂、同角/88 角は 75 香による逆王手でダメですので 89 成桂という事になりますね。初形 87 の駒が成桂というのも深い理由がありました。最後は歩の消去で空いた 43 に桂を打って詰上がります。92 龍、93 龍の繋ぎも上手くてまた各駒の働きも良く完成度の高い作品と思います。

橋本孝治

滅多に見られない受方のはがし趣向。直接 82 龍の移動合ができるのに、別方向に飛んで、復活により移動合。アンチキルケの「2 手指しっぽさ」を巧く利用した趣向に感心しきりです。

変寝夢

左下の配置が意外とシンプルで、よう余詰まんなあと思いました。確かに 5 1 に逃げられたら瞬間ジエンドなんだけどね。

占魚亭

桂を掘り出すためのサイクルが楽しかったです。

上谷直希

最初双方の龍ノコかと思いき龍を縦に近付けて何も起きず首をかしげてしまった。3 段目の配置を素直な目で眺めれば剥がしの順が思いつくか。

10 番 神無七郎作

アンチキルケばか詰 105 手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 桂 | 歩 | 歩 | 桂 | 歩 | 六 |
| 王 | | と | と | と | と | と | と | | 七 |
| | | と | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

88と上 99玉 98と 89玉 88と右 79玉
 78と右 69玉 68と右 59玉 58と右 49玉
 48と右 39玉 38と右 29玉 39と 18玉
 29と 27玉 38と上 17玉 27と 18玉
 17と 28玉 38と 29玉 28と 19玉
 18と寄 29玉 19と 38玉 48と 39玉
 38と 49玉 48と 59玉 58と右 49玉
 59と 38玉 49と 47玉 58と上 37玉
 47と 38玉 37と 48玉 58と 49玉
 48と 39玉 38と寄 49玉 39と 58玉
 68と 59玉 58と 69玉 68と 79玉
 78と右 69玉 79と 58玉 69と 67玉
 78と上 57玉 67と 58玉 57と 68玉
 78と 69玉 68と 59玉 58と寄 69玉
 59と 78玉 88と 79玉 78と 89玉
 79と 98玉 89と 87玉 78と 97玉
 87と 98玉 96と/97と 同玉/51玉
 52歩 42玉 34桂 41玉 42桂成 迄 105手

詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | 王 | | | | 一 |
| | | | | 歩 | 圭 | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | 歩 | 歩 | 歩 | 桂 | 歩 | 歩 | | 歩 | 六 |
| | | | | と | | と | | と | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | と | | と | | と | 九 |

持駒 なし

作者

横に並んだ「と金」を飛び石型の配置に並び替える趣向作です。アンチキルケで玉が51に緊急脱出できる場合、準備が整うまで玉の逃げ場を確保しないとイケません。本局は、そんな「詰禁」的なアンチキルケの性質の利用法を示す一例になると思います。

★ 続いては七郎さんの登場です。WFP 作品展担当をされながら氾濫担当や創作、解答にとフェアリー界を引っ張ってくれています。感謝に堪えません。

★ 本作は簡単に詰みそうですが持駒なしでは

51玉と戻られたときに詰みませんので目的は96歩を取ることでとなります。と金で96歩を取る96とと指せば97に復活することになります。と言うことは97玉、78との形から87と、98玉、96と/97との手順しかありませんのでこの形を目指します。実際指し進めて行きこの形を作ろうとすると7枚のと金の内6枚が異様に邪魔な事に気がきます。というわけで邪魔な6枚のと金を5筋から右へ収納していくのが本作です。まさに倉庫番パズルです。おまけに6枚のと金がきれいな飛び石状に並ぶという羨ましいほどの順が正解となります。上手いものですね。この作が発展して13番へとなる訳ですが、本作くらいの難易度で形も面白く楽しい作品と思います。

変寝夢

7つのと金で一つの生命体のように感じました。

占魚亭

復路の繰り方が難しく、苦戦しました。

上谷直希

うまい折り返しが思いつかずギブアップ。

11番 神無七郎作

アンチキルケばか詰 179手

持駒 なし

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | 王 | | 王 | | 王 | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | 歩 | 歩 | 歩 | 玉 | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | 歩 | | | | | 六 |
| 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 入 | 歩 | | | | 七 |
| 飛 | | | 入 | 歩 | 王 | | | | 八 |
| 銀 | 銀 | 王 | 桂 | 入 | | | | | 九 |

持駒 なし

88銀直 78玉 79銀 89玉 78銀 同と/73と
 88飛 79玉 78飛 89玉 98銀 99玉
 79飛 88玉 89銀 99玉 78銀 98玉
 99飛 88玉 89銀 79玉 98銀 78玉
 89銀 68玉 98飛 79玉 88銀 78玉
 99銀 88銀 同銀/79銀 89玉 78銀 79玉
 99飛 88玉 89銀 79玉 98銀 78玉

89 銀 68 玉 98 飛 79 玉 88 銀 68 玉
 99 銀 79 玉 68 銀 同と 88 銀 78 玉
 99 銀 88 銀 同銀/79 銀 89 玉 78 銀 同と
 99 飛 88 玉 89 銀 79 玉 78 銀 88 玉
 89 銀 79 玉 98 銀 78 玉 89 銀 68 玉
 98 飛 79 玉 88 銀 78 玉 99 銀 88 銀
 同銀/79 銀 89 玉 78 銀 79 玉 99 飛 88 玉
 89 銀 79 玉 98 銀 78 玉 89 銀 68 玉
 57 銀 同角生/22 角 98 飛 79 玉 88 銀 78 玉
 99 銀 88 銀 同銀/79 銀 89 玉 78 銀 79 玉
 99 飛 88 玉 89 銀 79 玉 98 銀 78 玉
 89 銀 68 玉 57 銀 同歩成 98 飛 79 玉
 88 銀 78 玉 99 銀 88 銀 同銀/79 銀 89 玉
 78 銀 79 玉 99 飛 88 玉 89 銀 79 玉
 98 銀 78 玉 89 銀 68 玉 98 飛 79 玉
 68 銀 同と 88 銀 78 玉 99 銀 88 銀
 同銀/79 銀 89 玉 78 銀 同と 99 飛 88 玉
 98 飛 79 玉 99 飛 89 と 68 銀 78 玉
 98 飛 88 と 59 銀/79 銀 89 玉
 99 飛 同と/93 と 78 銀 88 玉 89 銀 79 玉
 88 銀 68 玉 79 銀 59 玉 68 銀 48 玉
 57 銀 37 玉 46 銀 36 玉 45 銀 35 玉
 44 銀 45 玉 57 桂 34 玉 43 銀生 33 玉
 42 銀生 23 玉 24 歩 14 玉 15 歩 13 玉
 23 歩成 迄 179 手

詰上図

持駒：飛銀

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|---|---|---|---|---|---|---|--|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | 馬 | | 馬 | | 馬 | | | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | 銀 | | 馬 | | | | | | | | | | | | 二 |
| | | ス | 歩 | ス | 歩 | 玉 | | | | と | 王 | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | 六 |
| | | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | | 歩 | | | | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | 歩 | | | | | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | 桂 | | | | | | | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

作者

銀が主役の趣向作です。銀の入手と銀捨てで局面を打開するわけですが、その目的は 59 から 48 を通る通常脱出のルート確保と、脱出後に必要な歩の入手です。玉が 51 へ緊急脱出すると詰まないの、玉の逃げ場を残すために、銀の細かい動きが必要になります。

★6 手目同と/73 ととしてと金 1 枚を除去して空間をあけます。持駒がない状況では同玉/51 玉としては詰まないの玉で駒を取らずと金を消去して退路を確保していきます。手順で重要なのは 98 飛、88 銀と 78 玉型から 99 銀、88 銀、同銀/79 銀・・・と銀を入手する手順です。そして入手した銀を 47 手目 68 銀と打ち 57 とを 68 に移動させその後 78 に移動させてと金を奪います。87 手目 57 銀と捨て同角生/22 角として（何故生かは後からのお楽しみ）この時先に同歩成とすると詰まなくなります。107 手目 57 銀として同歩成としと金を作りここからが収束に向かいます。このと金を 68～78～89～88 に移動させた状態で 149 手目銀で 59 のと金を取る手が重要でその後 99 飛と捨てる手が英断で飛が居なくなったことで玉の移動がスムーズで動けるようになりました。この辺りが一番の難所だと思います。その後は 59 から玉を逃がして銀追いで下段に落として行きます。最後は 42 銀生、23 玉、24 歩、14 玉、15 歩、13 玉。23 歩成 迄 詰上げます。42 銀生が 51 の地点を抑える 1 手です。最後 23 歩成までの詰みですので 22 角が馬だと居食いされて詰みません。よって 88 手目は角生が正解と分かります。趣向作ではありますが、銀の動きがやや不規則で歩の入手の仕方も一工夫必要で一筋縄ではいかないとところは作者ならではです。

変寝夢

左下の銀を奪うやりとりが難解。収束はもつと難解そう。

占魚亭

方針の立てやすい飛車銀繰りですが、何度か頭がこんがらかりました。角を再生させるタイミングがポイントですね。



12番 たくぼん作

アンチキルケばか詰 179手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | |
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 主 | | | 香 | 科 | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| 飛 | 銀 | | | | | | | | 五 |
| 銀 | | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 六 |
| 桂 | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩2

59歩 67玉 68歩 66玉 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 67歩 57玉 58歩 同と/53と 58歩 47玉
 48歩 同と/43と 48歩 58玉 59歩 67玉
 68歩 66玉 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 67歩 57玉 58歩 48玉 49歩 37玉
 38歩 同と/33と 38歩 47玉 48歩 58玉
 59歩 67玉 68歩 66玉 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 67歩 57玉 58歩 48玉 49歩 38玉
 39歩 27玉 28歩 37玉 38歩 47玉
 48歩 58玉 59歩 67玉 68歩 66玉
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 67歩 57玉 58歩 48玉
 49歩 38玉 39歩 28玉 29歩 37玉
 38歩 47玉 48歩 58玉 59歩 67玉
 68歩 66玉 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 67歩 57玉 58歩 48玉 49歩 38玉
 39歩 27玉 28歩 26玉 27歩 同金/41金
 27歩 37玉 38歩 47玉 48歩 58玉
 59歩 67玉 68歩 66玉 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 77角/88角 77歩 77角/88角 77歩
 67歩 57玉 58歩 48玉 49歩 38玉
 39歩 27玉 28歩 16玉 17香/19香 26玉
 27歩 37玉 38歩 47玉 48歩 58玉

59歩 67玉 68歩 66玉 77角/88角 76玉
 77歩 85玉 97桂 まで 179手

詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | |
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 主 | | | 香 | 科 | 香 | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| 飛 | 銀 | | | | | | | | 五 |
| 銀 | 王 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 六 |
| 桂 | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

★ 自作です。安易な発想でアンチキルケでは居食いが出来るので歩の増幅機構として簡単に導入できるのを利用して寿限無型の長手数作品を目指しましたが、あっという間に12月が来て超ミニミニ寿限無となりました。荻絵香木氏の研究資料も見ただのですがいずれにせよ時間切れでした。いずれリベンジしたいと思います。目的の17桂取得目指して局面を進めていけば解けるのではないのでしょうか。

橋本孝治

アンチキルケ版ミニ寿限無。「居食い」を使った持駒増幅はアンチキルケ長編ならではのね。歩を下げる機構が2筋だけなので、超長手数にはなりませんでしたが、荻絵香木氏の研究資料

(<http://k7ro.sakura.ne.jp/report/ogie.html>)を参考にすれば、もっと手数を延ばせるかもしれません。

変寝夢

51の地点が塞がっているのので、何かあったが手順を見て納得。

占魚亭

居食いを絡めた面白いサイクル手順でした。

青木裕一

盤面右側でどこまで局面を進めるかが非常に悩ましい。

13番 神無七郎作

アンチキルケ協力詰 209手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

- 28 成銀 39 玉 38 成銀 29 玉 39 成銀 18 玉
- 29 成銀 27 玉 18 成銀 37 玉 27 成銀 38 玉
- 48 と 39 玉 38 と 29 玉 28 と 19 玉
- 18 と 29 玉 19 と 38 玉 37 成銀 48 玉
- 47 成銀 38 玉 28 と 39 玉 38 と 49 玉
- 48 と 59 玉 58 と 右 49 玉 59 と 38 玉
- 48 と 27 玉 37 と 28 玉 27 と 38 玉
- 37 成銀 48 玉 47 成銀 59 玉 58 と 寄 49 玉
- 48 と 39 玉 38 と 29 玉 28 と 寄 19 玉
- 18 と 29 玉 19 と 38 玉 37 成銀 48 玉
- 47 と 58 玉 68 と 59 玉 58 と 49 玉
- 48 と 寄 39 玉 38 と 49 玉 39 と 58 玉
- 57 と 68 玉 67 と 右 58 玉 48 と 59 玉
- 58 と 69 玉 68 と 寄 79 玉 78 と 右寄 69 玉
- 79 と 58 玉 68 と 上 48 玉 47 成銀 59 玉
- 58 と 69 玉 68 と 寄 79 玉 78 と 右寄 69 玉
- 79 と 58 玉 57 成銀 59 玉 69 と 48 玉
- 58 と 38 玉 28 と 引 39 玉 29 と 引 49 玉
- 48 と 59 玉 58 と 69 玉 68 と 寄 59 玉
- 69 と 48 玉 58 と 37 玉 47 と 27 玉
- 18 と 左 38 玉 37 と 48 玉 47 成銀 58 玉
- 57 と 68 玉 78 と 寄 69 玉 68 と 59 玉
- 58 と 寄 49 玉 48 と 39 玉 38 と 寄 49 玉
- 48 成銀 59 玉 49 成銀 68 玉 67 と 左 78 玉
- 77 と 89 玉 88 と 79 玉 78 と 寄 69 玉
- 68 と 79 玉 69 と 88 玉 87 と 89 玉
- 79 と 98 玉 88 と 上 99 玉 98 と 89 玉
- 99 と 78 玉 88 と 引 79 玉 89 と 引 68 玉
- 58 成銀 77 玉 67 成銀 87 玉 98 と 右 78 玉
- 77 成銀 79 玉 89 と 68 玉 78 と 69 玉
- 68 と 59 玉 58 と 寄 49 玉 48 と 左 59 玉
- 49 と 68 玉 67 成銀 78 玉 77 成銀 89 玉
- 88 と 79 玉 78 と 69 玉 68 と 79 玉

- 69 と 88 玉 87 成銀 89 玉
- 96 成銀/79 成銀 同玉/51 玉 52 歩 42 玉
- 34 桂 41 玉 42 桂成 迄 209 手

詰上図

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | 王 | | | | 一 |
| | | | | 歩 | 圭 | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 なし

作者

10番の作品を作った後、「と金」を他の駒に変えることを試みました。ただ、元の趣向は空間がスカスカで、意外と綺麗な手順にできません。それならいっそ…ということで規則性を放棄し、詰め込めるだけ駒を詰め込む方針に転換した結果生まれたのが本局です。かなり面倒な作品ですが、根性試しとだけいただければ。

★ 続いては七郎さんの作品。10番の発展形でこちらも96歩を取ることが目的となります。しかし97歩配置の為、と金では取れず成銀で取らなければならないことで7枚のと金を片付けつつ最後成銀で96成銀/79成銀と王手できる形を目指します。私も答えを聞いていなかったため（作者の思いやりです）解図に取り掛かりましたがまるまる2ヶ月ひたすら最短手順目指して汗をかきました。解けた手順を見ても何が目的でこうなるのか？さっぱり分からないまさにモンスター級の超難解作です。正解者がいない場合は私が名乗り出る予定でしたが見事、占魚亭さんが正解を入れられました。これは超フアインプレイ。お疲れ様でしたとしかいいようがありません。何度も並べて手順の解説を試みましたがダメでした。とにかくと金が邪魔としかいいようがありません。

変寝夢

解けてませんが、解答者は202手目の局面で、「だから成銀か」と納得するのでしょうか。個人的には10番の方が好みます。

占魚亭

巧緻な駒繰りで、10番以上に難しかった……。96歩の獲得&収束が同一なのが救いでした。

★ お見事です！

14番 馬屋原剛作

アンチキルケばか詰 355手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | 皇 | 金 | | | | | | | 皇 | |
| 二 | 皇 | 香 | 香 | 歩 | 歩 | 歩 | 歩 | 香 | | |
| 三 | 角 | | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 歩 | |
| 四 | 玉 | | | | と | | | | 香 | |
| 五 | | | | 王 | | | | | 香 | |
| 六 | | 桂 | 歩 | | 香 | | 香 | 歩 | 香 | |
| 七 | | | | | | | | | 歩 | |
| 八 | | | | 香 | 歩 | | 香 | 歩 | | |
| 九 | | | 銀 | 香 | | 皇 | 香 | 歩 | | |

持駒なし

64と55玉 54と45玉 44と35玉
 25香 同と 34と45玉 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68香 64と55玉
 54と45玉 46歩 同飛 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68歩 64と55玉
 54と45玉 44と35玉 36香 同と
 34と45玉 44と55玉 54と65玉
 68銀/79銀 68香 64と55玉 54と45玉
 44と35玉 34と25玉 26歩 同と
 24と35玉 34と45玉 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68歩 64と55玉
 54と45玉 44と35玉 37香 同と
 34と45玉 44と55玉 54と65玉
 68銀/79銀 68香 64と55玉 54と45玉
 44と35玉 34と25玉 26歩 同飛
 24と35玉 34と45玉 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68歩 64と55玉
 54と45玉 48香 同と 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68香 64と55玉
 54と45玉 46歩 同飛 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68歩 64と55玉
 54と45玉 44と35玉 34と25玉
 27香 同と 24と35玉 34と45玉
 44と55玉 54と65玉 68銀/79銀 68香
 64と55玉 54と45玉 44と35玉

34と25玉 26歩 同飛 24と35玉
 34と45玉 44と55玉 54と65玉
 68銀/79銀 68歩 64と55玉 54と45玉
 44と35玉 37香 同と 34と45玉
 44と55玉 54と65玉 68銀/79銀 68香
 64と55玉 54と45玉 46歩 同飛
 44と55玉 54と65玉 68銀/79銀 68歩
 64と55玉 54と45玉 44と35玉
 34と25玉 28香 同と 24と35玉
 34と45玉 44と55玉 54と65玉
 68銀/79銀 68香 64と55玉 54と45玉
 44と35玉 34と25玉 26歩 同飛
 24と35玉 34と45玉 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68歩 64と55玉
 54と45玉 47香 同と 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68香 64と55玉
 54と45玉 46歩 同飛 44と55玉
 54と65玉 68銀/79銀 68歩 64と55玉
 54と45玉 44と35玉 34と25玉
 27香 同と 24と35玉 34と45玉
 44と55玉 54と65玉 68銀/79銀 68香
 64と55玉 54と45玉 44と35玉
 34と25玉 26歩 同飛 24と35玉
 34と45玉 44と55玉 54と65玉
 68銀/79銀 68歩 64と55玉 54と45玉
 44と35玉 37香 同と 34と45玉
 44と55玉 54と65玉 68銀/79銀 68香
 64と55玉 54と45玉 46歩 同飛
 44と55玉 54と65玉 68銀/79銀 68歩
 64と55玉 54と45玉 44と35玉
 34と25玉 29香 同全/31全 24と35玉
 34と45玉 44と55玉 54と65玉
 68銀/79銀 76玉/51王 61金 41玉
 51金 同と 31歩成 同玉 32歩 21玉
 31歩成 12玉 21銀 迄 355手

詰上図

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|--|
| | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| 一 | | 香 | | | 歩 | | と | 銀 | 皇 | |
| 二 | 皇 | 香 | 香 | 歩 | | 歩 | | 香 | 王 | |
| 三 | 角 | | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 香 | 歩 | |
| 四 | 玉 | | | | と | | | | 香 | |
| 五 | | | | | | | | | 香 | |
| 六 | | 桂 | | | 香 | 香 | | | | |
| 七 | | | | | | 歩 | 歩 | | 歩 | |
| 八 | | | | | 歩 | 歩 | 香 | | | |
| 九 | | | 銀 | 香 | | 皇 | | | | |

持駒なし

作者

居喰いで歩合と香合を交互に出すところから

作り始めました。少しずつ手数を伸ばしていったら 300 手を超すことができました。守備の飛の移動挟むことで、と金の移動順が限定できたのがラッキーでした。

★ トリは馬屋原さんの超長編趣向作です。記録的には、これまでのアンチキルケ協力詰の最長手数は 2006 年 1 月のアンチキルケばか詰作品展の神無七郎作の 291 手でした。(下図)

アンチキルケばか詰 291 手

| | | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | | | | | |
| | | | 皇 | | | | | | | 一 |
| | 飛 | 飛 | 香 | | 飛 | 飛 | 皇 | | | 二 |
| | 杏 | 歩 | | 王 | | | 杏 | | | 三 |
| | 飛 | 飛 | | | | 杏 | 杏 | | | 四 |
| 王 | | と | | | | | | | | 五 |
| 皇 | 飛 | 飛 | 飛 | 飛 | 飛 | 飛 | 飛 | 皇 | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | 歩 | | | | | | | | 歩 | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 歩7

この当時の長編ではこのようなと金追いが多かったように思います。本作は 355 手と最長手数を更新しました。しかしながら居食いを利用しての超長編はまだ開発できる感じですので本記録もいつ破られておかしくないのかもしれませんが。

★では本作の趣向の流れを記してみます。

7 手目から 25 杏、同とで受方に香を渡します。

35 手目から 36 香、同と (25 と→36 と)

53 手目 26 歩、同と (36 と→26 と)

71 手目 37 香、同と (26 と→37 と)

89 手目 26 歩、同飛 (46 飛→26 飛)

105 手目 48 香、同と (37 と→48 と)

117 手目 46 歩、同飛 (26 飛→46 飛)

133 手目 27 香、同と (28 と→27 と)

153 手目 26 歩、同飛 (46 飛→26 飛)

171 手目 37 香、同と (27 と→37 と)

185 手目 46 歩、同飛 (26 飛→46 飛)

201 手目 28 香、同と引 (29 と→28 と)

221 手目 26 歩、同飛 (46 飛→26 飛)

237 手目 47 香、同と寄 (37 と→47 と)

249 手目 46 歩、同飛 (26 飛→46 飛)

265 手目 27 香、同と (28 と→27 と)

285 手目 26 歩、同飛 (46 飛→26 飛)

303 手目 37 香、同と左 (27 と→37 と)

317 手目 46 歩、同飛 (26 飛→46 飛)

333 手目 29 香、同全/31 全 (39 全→31 全)

343 手目 68 銀/79 銀、76 玉/51 玉 以下収束になります。

★ピンされてるので 4 段目のと金は横にしか動けません。これを左右に動かして 6 筋で居食いで歩か香を持駒に出来ます。普通は連続して合いできるので非限定になるのですが、後手の持駒が無くなると 51 へ飛ぶしかなくなる不詰ですので 1 度に 1 枚しか取れないのは上手い作りです。得た歩と香を使い右側で地面をほぐして 39 全を掘りに行くわけです。歩の時は飛移動を主にして香の時にと金移動を主にほぐしていくのですが、非限定が出やすい形ですので全てが限定できているのには驚きです。収束も 31 に復活した銀を奪っての詰上りできれいに決まりました。355 手と長手数ですがキーを丁寧に見る謎解きの味が抜群でこれまでにないアンチキルケばか詰作品となったと思います。これから新たなアンチキルケばか詰作品誕生の呼び水になるのではないかと期待しています。

橋本孝治

「呼び出し収納」とでも呼びたい趣向。香を使って「と金」群を呼び出して、邪魔にならない場所に片付けるわけですが、香と歩が交互にしか入手できないので、飛の往復などを絡めてタイミングを調整するのが巧妙です。これで作品の面白味が格段に上がったと思います。実は最初に解いたとき収束の「51 金 同と」の 2 手を入れ忘れて、ちょっと危ないところでした。ちゃんと手数を数えて良かった…

★51 金、同とを入れておかないと 31 歩成に同玉が出来なくなります。

変寝夢

どうやって 3 1 に全を移動させるか。ひたすら入手した香でと金を移動させるのだが、その手順は決して単純ではない。作者の力量を改めて認識させられると共に、このルールはまだ見ぬポテンシャルは相当あることを改めて確信した。

占魚亭

成銀を初期配置位置に戻すのを目指す巧みなサイクル手順。普通詰将棋の長編のような感覚。

上谷直希

ギブアップし fm 利用。アンチキルケの居食いの特性を利用して、一対一交換をしながら折り返せるので純粋に駒位置変換に集中

できるのがいいですね。

青木裕一

前見たときよりも、複雑になっているんですけど。

【総評】

橋本孝治

久々のアンチキルケ作品展でしたが、質・量共に充実していて大満足です。この盛況には上谷直希氏のオンライン入門講座も大きく貢献していると思います。WFP150号記念企画にふさわしい楽しい「お祭り」だったと思います。

〔お気に入り〕4番 馬屋原剛作、9番 青木裕一作、14番 馬屋原剛作

青木裕一

お気に入り：4

上谷直希

時間が足りず途中でギブアップ。馬屋原さんに参入いただいたのはとても嬉しいです。新規参入があつてこそその業界ですからね。だからこそ自力で解答できず申し訳なかった……。お気に入り投票(7)全題解けていないのに投票するのは気が引けますが一作のみ投票します。

占魚亭

長編の解図に苦勞しましたが、好作揃いで楽しかったです。

〈お気に入り投票〉1番・9番・14番

変寝夢

いろいろな方向性があり、面白かったです。

★ アンチキルケばか詰作品展いかがだったでしょうか？久しぶりの開催でしたが新たな方の参入で新しいアンチキルケの一面が発掘されたのではないかと思います。150号記念で開催してよかったですと思います。もっともっと驚くような趣向が眠っているそんな期待も沸いてきました。今後の展開も楽しみです。

★ お気に入り投票は4番、9番、14番が各2票を獲得しました。4番、14番の馬屋原さんと9番の青木さんに、解答者

からは厳正な抽選の結果、占魚亭さんに愛媛の美味しい一品を送らせて頂きます。

★ 投稿いただきました皆様、解答頂きました皆様、ありがとうございました。アンチキルケの面白さを知っていただけましたでしょうか。次回作品展を開催するときにもまたよろしくお願ひします。また新たな参加者にも期待しています。

今回の問題たちは、「第53回神無一族の氾濫」(お題は何らかの点で「7」にちなんだ作品)向けの応募作を創作しているときにできた副産物たちです。

例によって、似たようなものばかりの気もしますが、葬り去る気にはなれませんでした。楽しんでやってください。

そうそう、いつも書き忘れてしまっていて申しわけありません。感想等は下記までお願いします。

神無太郎 : sgr03057@nifty.com

<ルール説明>

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。

※各題Gの総駒数は4の設定です。

<問題>

【10-1】

協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | 王 | 銀 | | 九 |

持駒 G

【10-2】

協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 王 | 香 | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 G4

【10-3】

協力詰 9手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|---|--|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | 馬 | | | 六 |
| | | | | | | 王 | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 G4

【10-4】

協力詰 11手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | 王 | 七 |
| | | | | | | | | 馬 | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 G3

恒例?、「第53回神無一族の氾濫」(お題は何かの点で「7」にちなんだ作品)落選作です。

<ルール説明>

【協力詰】

先後協力して最短手数で受方の玉を詰める。

【自玉詰】

攻方は自玉を詰めるよう王手を掛け、受方はそれを妨げるよう応じる。

【二玉詰】

複数の玉を使用する。どの玉に対しても王手放置は禁手。王手を外せなければ詰み。

【点鏡】

55に関して点対称な位置にある2つの駒は、敵味方関係なく互いにその性能が入れ替わる。

[補足]

行き所のない駒の禁則は適用されない。

【Grasshopper】(G)

フェアリーチェスの駒。クィーンの線上で、ある駒を1つ飛び越したその直後の地点に着地する。そこに敵の駒があれば取れる。

【中立駒】(n駒)

どちらの手番でも動かせる駒。

<問題>

【r3-1】

点鏡協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 王 | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 金騎

47 騎 63 飛 67 騎 43 角 34 騎 54 玉
 55 金 まで 7手

占魚亭

前半4手が上手い。

【r3-2】

二玉協力詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|--|--|---|---|--|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | 王 | | | 五 |
| | | | | | | | | 王 | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | | 九 |

持駒 nG2

61nG 43 桂 34nG 52nG 43nG 36 玉
 28 桂 まで 7手

占魚亭

きれいに両取りが決まった。

【r3-3】

協力自玉詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | | |
|--|---|--|--|--|--|--|--|--|---|---|
| | | | | | | | | | | 一 |
| | 王 | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | | 四 |
| | | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 王 | 九 |

持駒 G

73 飛 28G 37 桂 46G 55G 64G
 13 飛 まで 7手

占魚亭

鋭い切り返し。

(詰まないの受方にGを持たせて考えました)
 ※すみません、書き忘れでした。

【r3-4】

協力自玉詰 7手

9 8 7 6 5 4 3 2 1

| | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|---|--|--|--|--|---|
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | | | | | | 四 |
| | | | | 王 | | | | | 五 |
| | | | | | | | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | 王 | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 nG

56 桂 57nG 59nG 49 王 58 飛 57nG
 48 桂成 まで 7手

占魚亭

nGのスイッチバックに桂成で切り返す。上手い。

※いろいろほめていただきありがとうございます。

<余談その1>

第9回 神無太郎の氾濫 解答編の<余談>で書いた「最短手数探しパターンでの出題形式の意図」の件、やはりよくわからないという感想を持っていた解答常連が複数いました。

<余談その2>

数学セミナーの「エレガントな解答をもとむ」の問題に関連した話をもうひとつ。

$\sqrt{2}$ を有理数で近似する必要があつて、連分数展開を使えばいいのかなとは思ってみたものの、具体的なやりかたがかわらなかったので、インターネット検索してみました。

知りたいことが書いてあるサイトには行きついたので、なんとその記事を書いていたのは風みどりさんでした。ずいぶん前、超立方体(四次元の立方体)の三次元空間への展開図が想像できるようになる本に出会えたのも、風みどりさんの書籍紹介だったような気がします。世の中、狭い?ですね。

※まだ空白がありますね。

<余談その3>

数学セミナーと言えば、読者のちょっとした成果を掲載する Note というコーナーがあるらしいのですが、そこに私の本名が載ったらしいです。有限体上のとある方程式の解の個数を決定するもので、その証明を手伝ったということで合作者?ということらしいです。

<余談その4>

算数オリンピック第30回大会記念イベントが開催されています。『算数オリンピックの難問題に挑戦!』と題して、難易度の高かった過去の問の解答を募集し、算数オリンピック委員会が「あっ!と思わされた」「う~む!とうなった」「おお!と感動した」考え方を優秀賞として表彰し、ホームページ上で紹介するものです。

小学生部門の他に年齢制限のない一般部門もあるので、優秀賞の図書カード1000円分目当てに解答しています。『神無一族の氾濫』の懸賞に充てるためです。

それが結構難しいのです。賢い小学生が解ける程度の問題なので、解けないことはないのですが、解答の加減が難しいのです。

例えばグラフ理論のオイラーの定理を使えば一行で答えが出せるような問題だったりします。どこまでさかのぼって解答を書けばいいのか。

過剰な条件がつけ加えてあったりもします。提出した解答に対して、出題意図と違うという返事がきたことがありました。どう読んでも問題文からはその意図は読み取れませんでした。委員会側もそれを認識したのだと思いますが、すぐに問題文に出題意図が明記されました。小学生向けに解答を誘導する目的があつたのではないかと後で思いました。変化を簡単にしようとした配置で余詰を誘発したという感じですかね。

さらに、厳密性より直観性(発想)を重視する解答審査のようです。細かなところまでくどくど証明する必要はなさそうで、こういう法則が成り立ちそうというような予想前提での解答でも大丈夫な感じです。

で、問題をいじり倒す上から目線の解答スタイルにたどりつき、5問目でやっと図書カードがゲットできました。残り3問も上から目線で攻めてみようと思います。算数オリンピック委員会からはいやがられるかもしれませんが。

キルケ 例題級の作品の出題 結果

2021年1月号発表作の結果発表です。

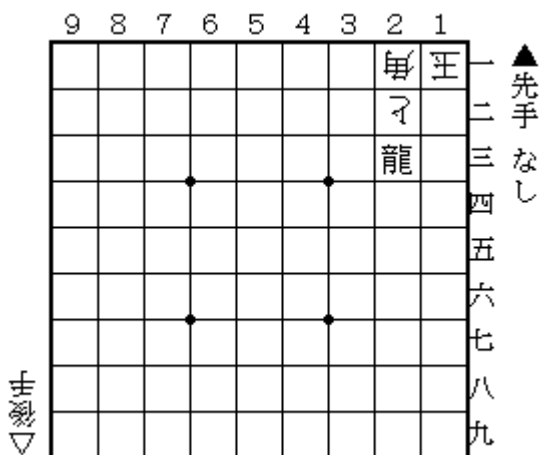
解答期間が短くて失礼いたしました。解説は充実させたつもりですので、出題時に見逃してしまっていた方も是非ご一読ください。

【解答者】(アイウエオ順、敬称略)

神在月生、神無七郎、占魚亭、たくぼん、変寝夢

皆様全題正解でした。ご解答ありがとうございました。

①自作：キルケばか詰 3手



【作意】

13龍、同と/28飛、22飛成 まで 3手詰

【作者の狙い/入門用として伝えたかったこと】

すぐ取れそうな駒を取らずに、動かしてからその地点に動くムーブが狙い。初手 22 龍ではと金が 23 地点に生駒として復活してしまい邪魔になります(棋譜表記上 22 龍/23 歩)。

13 龍の1手を挟んでおけば、22 龍が駒取りの着手とならずに済みます。22 龍に対して同玉とするのは、飛車が 28 地点に復活するので王手解除になっていないのですね(棋譜表記上 22 玉/28 飛)。これがいわゆるキルケ特有の“自分で自分に紐をつける”詰め上がりです。先程 23 地点に歩が復活すると邪魔になると書きましたが、この 28 地点からの”影の利き”の邪魔になるという意味でした。

キルケに慣れている方からすればずいぶん易しめに感じられるであろう詰将棋なので発表にはやや抵抗がありましたが、21 角配置を思いついたので発表してもいいかなという気持ちにな

りました。3手目 21 龍とすると今度は 22 に角が復活して影の利きの邪魔になります(棋譜表記上 21 龍/22 角)。この”歩と角の影の縦の並び”感はちょっと良いかもしれません。

【短評】

神無七郎さん -

すぐに 22 龍だと 23 歩の壁ができるわけですね。取れる駒を取らず、逆に取って貰うのが詰将棋。

占魚亭さん-22 地点を開ける&と金の利き外し。基本の筋の1つ。

神在月生さん-フェアリーも 斜めに誘え と金かな

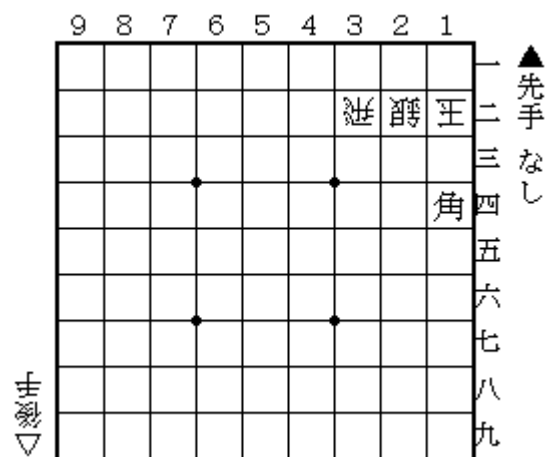
たくぼんさん-作意だけ見ると普通ですが、初手 12 龍の変化を考えるとなるほどと感心。入門編の例題に最適ですね。

☆初手 12 龍でもダメ、14 龍でもダメ。完全限定なのが詰将棋。

変寝夢さん- 2 1 角が巧い配置。

☆角配置に言及いただいた短評。作者はとても喜んでいきます。

②自作：キルケばか詰 7手



【作意】

23角成、11玉、22馬/31銀、同銀/88角、同角生/31銀、21玉、11角成 まで 7手詰

【作者の狙い/入門用として伝えたかったこと】

手順を追うと地味に見えてしまうかもしれませんが、先に狙いを言ってしまうでしょう。

3手目 22 馬/31 銀。ここで 22 の駒が馬では

なく角であれば、即 21 玉とすることで詰め上がりに至ることができるのですが、成駒だと強すぎていけません。ここでキルケ特有の"駒は成駒であっても生駒で復活する"ルールを使います。馬は取って銀に取らせ、2 回目の 22 への飛び込みは不成で決行します。そして当初の予定通り 21 玉と進め、詰め上がりへ迎えるというストーリーです。

昔自分はキルケルールで「成駒を生駒に戻す」狙いの作品をいくつか発表したことがあります。しかしそれらの作品でいう成駒はいずれも玉方駒で、よりシンプルに考えると別に攻方駒でもできるのではないかと、思いつづけてみました。成駒を生に戻す行為に妙手感が出るのは自分の戦力のほうではないかとも考えての創作起点かもしれません。本作でいうと 14 地点の角がその駒にあたりますが、初形ではまだ成ってはいません。生▶成▶生駒で復活▶成とコロコロ成生を変換させる手順に仕上がりました。

【短評】

神無七郎さん - 2 手目の 11 玉が少し盲点になりました。21 玉で詰める形が見えているので、すぐ 21 玉としたいくなります。成駒を生駒に変えるには「相手に駒を渡して取り返す」という煩雑な手続きが必要ですが、キルケではそれが自動的に行われることが良く分かる作品です。

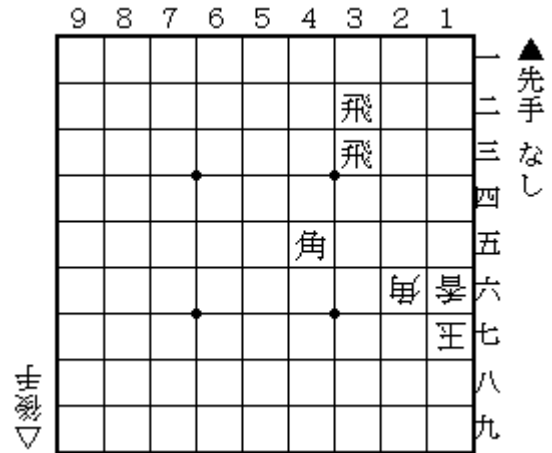
占魚亭さん - 22 地点でのやりとりが肝。これも基本の筋の 1 つですね。

神在月生さん - 成と生 二二攻めの 繰り返す

たくぼんさん - 22 馬を角に戻す不思議な手順。成るの反対はなんて言うんでしょうね。

変寝夢さん - 2 手目 21 玉と逃げたくなる。角と銀のやりとりは今までにあってもおかしくないけど、意外とないのかな。結構読まされました。

③自作：キルケ打歩ばか詰 9 手



【作意】

37 飛成、27 歩、28 龍、同歩成、37 飛成、27 歩、28 龍、同歩生、18 歩 まで 9 手詰

【作者の狙い/入門用として伝えたかったこと】

「フェアリー詰将棋 Web 通話型入門講座」内で、キルケは合駒を稼ぎにくいルールだと説明しました。何も準備を講じなければ、駒を取る動作を行ったとしてもその駒は最も近い復活地点に戻るだけで駒台には収まってくれないからです。

本作ではルールからして歩を取ることを求められるのは明らか。キルケで歩を取ることは他の駒種と違ってやや異なる意味付けの入手法があります。……そう、二歩禁ですね。

7 手目の 28 龍で、本来ならば 28 地点で取られたと金は 23 地点に歩として復活しようとしています。しかしこの局面では 2 筋にはすでに歩が存在しており、23 地点に歩が復活すると二歩禁の違法局面になってしまいます。こういった場合には、駒は復活せず普通の詰将棋と同様に駒台へ移ります。"本来復活すべき地点に何らかの理由で駒が戻れないときには駒台へ行く"と覚えておくともよいのかもしれませんが。

本作はこの二歩禁による歩入手を軽趣向の手順で実現したことになります。仕方ないのかもしれませんが、詰め上がりにキルケらしさを出せなかったのは入門用詰将棋としてはやや残念か。同じ地点への成生対比でお茶を濁しました。

【短評】

神無七郎さん - 二歩禁による復活阻止、これをミニ趣向で実現したのが素晴らしいですね。例題というより完全に「作品」です。取られた駒が復活するキルケというルールで、いかに復

活させないか。これを考えると創作のネタに困りません。

神在月生さんー二歩禁と 打歩誘致の 歩生かな

たくぼんさんー当初、37 飛生 27 歩 同飛/23 歩 18 玉 38 飛生 28 歩 同飛引 17 玉 18 歩 迄と早合点していましたが 5 手目成生非限定におかしいかと再考すると二歩していることに気付きました。作品の狙いも二歩回避ですのでまさに嵌ったというところですね。同じ地点に 2 回歩を合駒する不思議な手順。

変寝夢さんー取られても戻れない場合の説明用ですね。一瞬 2 3 を何かで防ぐのかなと思いました。PWC もそうですが、打歩ルールを追加するだけで中々の手順が表現できると思います。

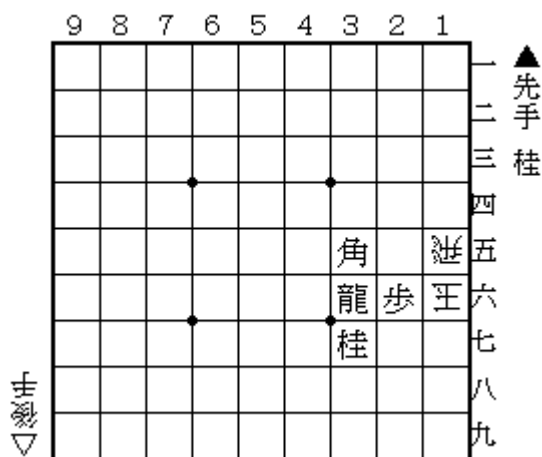
占魚亭さんー「Andernach について」で紹介させていただいた作品を思い出しました。

☆ (リンク :

<https://www.ne.jp/asahi/tetsu/toybox/kapitan/kp048.htm>)

☆この作ですね。

自作 : Andernach 協力詰 7 手
(自作 フェアリー時々詰将棋 2015/12)



☆優秀な構図はついつい使いすぎてしまいます。
(実はこっそり別の自作に使ってて、さらにさらに在庫にもあります。いかんいかん)

【総評】

神無七郎さん - 「フェアリー詰将棋 Web 通話型入門講座」、毎回楽しく拝聴させていただいています。前回の講座では中編や長編の紹介があったのが良かったですね。入門講座は時間の関係で短編中心になりがちですが、同じルールでも手数によって表現方法はかなり変わるので、イメージの偏りを防ぐ効果があったと思います。ただ、今回は原稿提出間際で焦っており、参加も途中からになってしまいました。次回は日程的にも余裕がありそうなので、最初からきちんと拝聴したいと思います。

☆神無七郎さんからは作品の感想だけでなく入門講座の感想も頂戴いたしました。やはり反応があるとモチベーションが変わってきます。本当にありがとうございます。

次回「フェアリー詰将棋 Web 通話型入門講座」も 2 月末に予定しております。是非ご確認の上ご参加をご検討いただければ幸いです。

神在月生さんー

思たより スンナリ解けて ご満悦
☆看板に偽りなしだったでしょうか。

第3回 フェアリー詰将棋Web通話型入門講座

上谷直希

題して"はじめての透明駒 集中講座"

第3回はついに透明駒を取り上げます。

今が旬。露出も多いルールですが、ルールの理解に不安が残る方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

大丈夫。今からでも遅くありません。むしろ今こそ波が来ています。

一緒に楽しくがんばりましょう。

【開催概要】

対象者：フェアリー詰将棋に興味がある方

取り上げるルール：透明駒

演者：上谷直希

日時：2月27日（土） 13時～

使用ソフト：Discord

費用：特になし

※当日までにダウンロードあるいはブラウザ視聴で動作確認をお願いいたします。当日の視聴にはPCおよびインターネット環境が必要です。スマホでもできるかもしれませんがPCのほうがやりやすいと思います。

Discordの『設定』からマイクテストができるはずなので、当日に質問する予定があるようならばご準備をお願いします。なお、視聴だけならばマイクは必須ではありません。

「1回1ルール」をモットーに、フェアリールールの説明および作品解説を行います。

たま研でもDiscordによるWeb通話を使ってみて、「これはいけるかもしれない」という感触があったので引き続きやってみます。たま研でも透明駒を取り上げようとスライドは準備していたのですが、時間の都合で解説が間に合わず。今回はそのリベンジも兼ねています。たま研にご参加いただいた方も、そうじゃない方もふるってご参加ください。

パワーポイントの画面を共有してスライドショーをぱらぱら流したり、PC上で将棋盤を動かしたりして解説します。

初心者歓迎。メインターゲットです。

【注】

1) この講座は上谷が個人的に行うものであるため、当日に機械の不調等による予期せぬトラブルが生じる可能性があります。また視聴者側の機械トラブルについてのご対応・ご相談は受けできませんのでご了承ください。

2) 透明駒のルール解説は講座内で行いますので予習は特に必要ありません。

詰将棋のルールおよびばか詰のルールについては、特に講座内での解説の時間は設けませんので、必要に応じてご確認をお願いいたします。

3) 人数制限は設けない予定ですが、あまりにも申込者が多いようならば設けざるを得ないことになるかもしれません。そのときには申し込みの先着順とさせていただきます（多分そんなことにはならないでしょうけど）。

【申込方法】

（初めて参加される方）

上谷（mail: tsumecontact@gmail.com）

◎を@に変換

上記メールアドレスに『第3回 フェアリー入門 Web 講座申込』のタイトルでメールを送ってください。申込者の氏名が分かるようにしていただければ幸いです。返信いたします。

2月23日頃に当日アクセスいただくアドレスや、配布資料のファイルをお送りする予定です。

申込締切：2月22日（月）

締め切りがギリギリで恐れ入りますが、もし当日お時間がありそうでしたらぜひご検討ください。

（第1回あるいは第2回の講座に参加いただいた方）

メールでの連絡は必要ありません。

これまでに使用したDiscordのルームをそのまま使用しますので、当日にふらっと入室していただければそれでいいですが、当方が前日までに大体の参加人数をある程度把握しておきたい気持ちもあり、参加をご希望の場合は、できればルーム内のチャット欄に「第3回参加します」などの一言を事前に残しておいていただくと助かります。

配布資料はチャット欄に置く予定です。

当日は都合が悪いけど配布資料だけでもほしいという方もメールください。お送りいたします。

今月の1日に広島将棋センターが3月7日(日)をもって閉店することが発表されました。

常連客の高齢化による一般来場者の減少とネット将棋の普及、コロナ禍による追い打ちで経営的に見通しが立たなくなったのが原因のようだ。私も20代の頃足しげく通っていた時代があり、時代の流れとはいえ本当に寂しさを感じている。

少しでも思い出を書いてみようと思う。

私が初めて広島将棋センターに足を運んだのは20代の後半だったと思うがはっきりとした年は思い出せない。今現在は百貨店の福屋の隣のビルにあるが当時は立町の知る人ぞ知るお好み焼きの名店「みっちゃん」が1階にあるビルの4階にあった。当時の棋力は2～3級位だったと思うが、将棋センターは一度行ってみたい場所ではあったけれどなかなか敷居が高くて入口まで行っては躊躇してそのまま帰るということを何度か繰り返したのを覚えている。何とか第一関門を突破して入るとそれは凄く心地の良い空間で、毎日トーナメント戦を開催していてそれに参加したり6対局して4勝以上で賞品(日常用品)を頂けたりと楽しい時間を過ごすことができました。当時は本多富治さんが席主ではあったが場を仕切っているのは現席主の田儀聖吾さんと久保茂さんの2人だった。

その頃の私は、保険の外交員で自由業みたいな立場であったので日中空いた時間に結構入り浸っていました。ただ指し将棋は全く弱くセンターに来られている常連の方にはほとんど歯が立たなかった。常連の方の中には、盲目の方がいらしていて升目が区切られている自作の将棋盤を持ってこられ、それで各駒を触りながら対局されるのだが、私は全くかなわなかった。世の中には凄い人があるものだなあと考えたものだ。

指し将棋がてんで弱いものだから、トーナメントではすぐ負ける。そこで私はいつも田儀さんや久保さんの隣で、詰将棋を始めるという事になります。詰パラを考えたり、自作を出題したり、フェアリーを解いたり、席料を払って一人で詰将棋をやっているのだから変わったお客だったでしょうね。手合いが奇数で余ったお客さんいれば、「須川さんお願いします」と

いうことで調整要員としては存在価値があったかもしれません。

広島将棋センターからは(故)村山聖九段、山崎隆之八段、片上大輔七段、糸谷哲郎八段、竹内雄悟五段の5名のプロ棋士を輩出していますが、私との関わりがあるのは(故)村山聖九段、山崎隆之八段、片上大輔七段の3名です。村山九段は当時すでにプロ棋士でしたが、山崎八段、片上七段はまだ小学生でした。

村山九段は、当時大阪に住まわれておりましたが年に何回かは広島に帰省されていてその度にセンターに寄られていたと思います。私がお会いしたのは1回だけですが、その時にお話しすることが出来て自作を解いて頂いたのがいい思い出です。解いて頂いた作品がこちら。投稿前に見ていただきました。

詰パラ 1992年2月号 短大 23手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | と | | 歩 | 皇 | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | 歩 | | | 三 |
| | | | | 馬 | 王 | | | 歩 | 四 |
| | | | 飛 | | | | ス | 馬 | 五 |
| | | | 金 | | | 王 | | | 六 |
| | | | | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 銀2

図面を渡して2～3分考えられたあと、「良い作品ですね」と言って頂き感激した記憶が今もありありと思い出されます。解を並べる途中で「あっそうか・・・」と呟かれて、どこかの變化で逃げ方を勘違いされていたようでした。

図面にサインを頂いておけばよかったなあと思つています。

山崎少年とは1度だけ対戦しました。山崎君は実に真面目でパイプ椅子に正座して盤面に集中して1手1手を指し進めます。本当にあつという間に吹っ飛ばされました。また、山崎少年が創った詰将棋を見せられましたが、実戦から創ったのか矢倉囲いの詰将棋で駒数の多いものでしたが、私と久保さんであれこれついつい推敲した覚えがありますが、その作品がどうなったのかは分かりませんが、その場限りで捨て去られたのでしょうか。これも図面を取っておけばなあと残念に思っています。

片上少年とは低学年の時に数回指しましたが、彼は強いのは間違いないのですが、まあ落ち着きがなく、私が考えているときは周りをキョロキョロして、私が指すと瞬時に指してまたキョロキョロ。全く盤面を見ることなくこちらも吹っ飛ばされました。数回勝ったこともあったように思いますが、まあ才能の違いを感じさせられました。

糸谷八段、竹内五段は私が新居浜に引っ越してからですので全くお会いしていません。

1994年頃よりフェアリーもよく並べていて普及活動もしておりました。お相手は、久保茂さんと原田隆範さんで触発されて詰パラにも登場されました。

1994年5月詰パラ・フェアリーランド
原田隆範作

ばか詰5手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | | | | 二 |
| | | | | | | | | | 三 |
| | | | | 飛 | | | | | 四 |
| | | | | | | ス | | | 五 |
| | | | 角 | | | | | | 六 |
| | | | | | | 王 | | | 七 |
| | | | | | 歩 | 金 | | | 八 |
| | | | 銀 | | | | | | 九 |

持駒 金

b) 持駒：金→銀

1995年5月詰パラ・フェアリーランド
トドさん（久保茂）作

ばか詰5手

| | | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 9 | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | |
| | | | | | | | | | 一 |
| | | | | | | 科 | | | 二 |
| | | | | | | 科 | | | 三 |
| | | | | | | | 科 | | 四 |
| | | | | | | | | | 五 |
| | | | | | | ス | 金 | 王 | 六 |
| | | 飛 | 馬 | | | | | | 七 |
| | | | | | | | | ス | 八 |
| | | | | | | | | | 九 |

持駒 飛

特にトドさん作は第8回妖精賞短編の部を受賞されました。共に喜びを分かち合いました。

1995年10月に私が新居浜市に引っ越してからは、私が帰省した際にお寄りする程度になりました。その後田儀さんが広島将棋センターを引継ぎ、今の場所に移転もさてからは、斎藤夏雄さんが詰将棋解答選手権の広島会場の責任者となり私もお手伝いさせて頂く際にお会いするくらいとなりました。

余談ですが、詰将棋解答選手権広島会場でいつも初級戦、一般戦に参加される女性の方がいらっしゃって、学生さんではなく一般の方なので珍しいなと思っていたのですが、ある時、その女性の方が田儀さんの奥様であることを知りビックリしたことがあります。エントリー時の苗字が異なっておりましたので全く気付かませんでした。またお亡くなりになりましたが解答王の市村道生さんとお会いできたのも広島将棋センターのご縁でした。まさに私の将棋・詰将棋の道を作ってくれた場所と言っても過言ではありません。

出身者の山崎隆之八段がA級に昇級され、また糸谷哲郎八段が棋王戦の挑戦者となられて初戦を勝利されました。その土台を作ったのはまさに広島将棋センターであることに間違いありません。広島将棋界にとって閉店は大きな痛手ではありますが、今後どのように普及指導していく場が出来るのか期待しつつ将来を楽しみにしたいと思っています。

田儀さん、久保さん、その他携わられてきた皆様お疲れ様でした。本当にありがとうございました。

コロナ禍で3月7日までに顔を出せるかどうかは分かりませんが、行きたいなあ。



(席主：田儀聖吾さん)

解答募集締切一覧

ネットでのフェアリー詰将棋の解答募集締切一覧です。締切日が早いもの順です。解答先は各々異なりますのでお間違えにないように。

2020年3月10日(水)

推理将棋第 136 回出題

推理将棋 3 題

2021年3月15日(月)

第 128 回 WFP 作品展

フェアリー作品 1 2 題

第 10 回神無太郎の氾濫

フェアリー作品 4 題

2021年4月15日(月)

第 129 回 WFP 作品展

フェアリー作品 1 1 題

作品募集一覧

Fairy of the Forest #66

協力詰 課題「自由課題」

(投稿先)

→酒井博久 (sakai8kyuu@hotmail.com)

詳細は P35 をご覧ください

第 54 回神無一族の氾濫

課題：将棋の格言にちなんだ作品

投稿締切：2021 年 4 月 18 日 (日)

投稿先：神無七郎 (k7ro.ts@gmail.com)

(詳細は P13 をご覧ください)



【あとがき】

はじめにも書きましたが、オンライン詰四、詰備会の中で、初めて上谷さん、馬屋原さんと少しだけお話をさせて頂きました。小林さんからは「フェアリーの部屋」を準備して頂いていましたが使い方がまだ初心者であることや話題の準備が全くしていないこともあり、何も出来ませんでした。もう少し勉強して少しは使いこなせるようになりたいと思いました。

あとから思いましたが、これを利用すれば全国のフェアリストが集合する「フェアリー祭」が実現できるのではないかということです。詰将棋全国大会は開催地の関係でフェアリストがたくさん参加する事は難しいかもしれませんが。しかしオンラインであれば可能ではないか。誰か主催者として手を上げて頂ければいいのですがどなたかいかがでしょうか？

次回神無一族の氾濫の課題が「将棋の格言にちなんだ作品」となっています。将棋の格言となればいろいろありそうですね。いけそうな格言を探してみました。

- ・居玉は避けよ
- ・一步千金
- ・馬の守りは金銀 3 枚
- ・王手は追う手
- ・銀は千鳥に使い
- ・桂の高跳び歩の餌食
- ・焦点の歩に好手あり
- ・遠見の角に好手あり

※いかがでしょうか？

たくぼん

2021 年 第 152 号

Web Fairy Paradise

非売品

令和三年二月号

令和三年二月廿日発行

発行所 愛媛県新居浜市

発行兼編集人 須川卓二

発行所 Web Fairy Paradise 編集部

問合先

須川卓二 takuji@dokidoki.ne.jp